

全国スキル調査 2026

スキル調査レポート

2026年 9月

ITスキル研究フォーラム（iSRF）

目 次

1. 調査概要		1
2. 調査結果		7
3. 資料編 (グラフデータ)		33

1. 調査概要

● 調査の背景・目的等

ITスキル研究フォーラム（iSRF）では、ITに携わる人材の課題と今後取り組むべきことを明らかにすることを目的として、1年に1度、Web上でITスキルの実態調査を実施している。

今年は前回に引き続き、IPA（独立行政法人 情報処理推進機構）より公開された「デジタルスキル標準」に基づくスキル診断（DXSS-DS）を用いて調査を実施した。加えて、今年は「生成AI活用における“業務変革力”と人材要件」をテーマに、生成AI活用に対する取り組み状況についても調査し、企業がどこまで業務変革できているか、その阻害要因や必要スキルについて分析する。

調査結果は「DX意識と行動調査ワーキンググループ」により回答者のスキルや職種・役職、所属企業の業態・規模などによる差異や相関性などを分析し、結果はiSRFのWebサイトおよび日経コンピュータ・日経クロステックにて公開予定。

● 対象者

企業においてDXを推進するビジネスパーソン、情報システムやソフトウェア、各種デジタル技術の設計・開発・運用に携わるエンジニアやマネージャー、組織内のIT利活用部門の担当者、および企業においてITを利活用する全てのビジネスパーソン

● 調査方法／調査内容

使用ツール	DXスキル診断システム「DXSS-DS」（「デジタルスキル標準」をもとにiSRFにて開発）
設問内容	・「デジタルスキル標準」（「DXリテラシー標準」および「DX推進スキル標準」）に基づくITリテラシーとITスキルに関する設問（選択式 72問） ・コアコンピテンシーに関する設問（選択式 72問） ・生成AI活用に対する取り組み状況等についてのアンケート ・その他 任意回答の診断等（「ストレスチェック」、「パーソナリティ診断」、「文章チェック」など）

● 調査期間

- ①一般参加者向け ： 2026年6月15日（月）～8月16日（日）
- ②企業単位申込み者向け： 2026年6月15日（月）～8月16日（日）

● 有効回答人数

- ①一般参加者向け： 414 人
 - ②企業単位申込み者向け： 119 人
- （※ ①、②合計：533 人）

● デジタルスキル標準（「DXリテラシー標準」及び「DX推進スキル標準」）とDXスキル診断システム「DXSS-DS」について

参加者は全員、共通の設問（72問）に回答。一回の診断で、一般ビジネスパーソンのための「DXリテラシー標準」に基づく診断の他、DX推進に必要な以下5つの人材類型、15のロール（役割）（「DX推進スキル標準」）について必要なスキルが診断できる。「DX推進スキル標準」の5類型／15ロールの内容は以下のとおり。

人材類型／ロール 一覧（その1）

	人材類型	ロール	DX推進において担う責任
1	ビジネスアーキテクト	ビジネスアーキテクト （新規事業開発）	新しい事業、製品・サービスの目的を見出し、新しく定義した目的の実現方法を策定したうえで、関係者をコーディネートし関係者間の協働関係の構築をリードしながら、目的実現に向けたプロセスの一貫した推進を通じて、目的を実現する
		ビジネスアーキテクト （既存事業の高度化）	既存の事業、製品・サービスの目的を見直し、再定義した目的の実現方法を策定したうえで、関係者をコーディネートし関係者間の協働関係の構築をリードしながら、目的実現に向けたプロセスの一貫した推進を通じて、目的を実現する
		ビジネスアーキテクト （社内業務の高度化・効率化）	社内業務の課題解決の目的を定義し、その目的の実現方法を策定したうえで、関係者をコーディネートし関係者間の協働関係の構築をリードしながら、目的実現に向けたプロセスの一貫した推進を通じて、目的を実現する
2	デザイナー	サービスデザイナー	社会、顧客・ユーザー、製品・サービス提供における社内外関係者の課題や行動から顧客価値を定義し製品・サービスの方針（コンセプト）を策定するとともに、それを継続的に実現するための仕組みのデザインを行う
		UX/UIデザイナー	バリュープロポジション脚注に基づき製品・サービスの顧客・ユーザー体験を設計し、製品・サービスの情報設計や、機能、情報の配置、外観、動的要素のデザインを行う
		グラフィックデザイナー	ブランドのイメージを具現化し、ブランドとして統一感のあるデジタルグラフィック、マーケティング媒体等のデザインを行う

人材類型／ロール 一覧（その2）

	人材類型	ロール	DX推進において担う責任
3	データサイエンティスト	データビジネスストラテジスト	事業戦略に沿ったデータの活用戦略を考えるとともに、戦略の具体化や実現を主導し、顧客価値を拡大する業務変革やビジネス創出を実現する
		データサイエンスプロフェッショナル	データの処理や解析を通じて、顧客価値を拡大する業務の変革やビジネスの創出につながる有意義な知見を導出する
		データエンジニア	効果的なデータ分析環境の設計・実装・運用を通じて、顧客価値を拡大する業務変革やビジネス創出を実現する
4	ソフトウェアエンジニア	フロントエンドエンジニア	デジタル技術を活用したサービスを提供するためのソフトウェアの機能のうち、主にインターフェース（クライアントサイド）の機能の実現に主たる責任を持つ
		バックエンドエンジニア	デジタル技術を活用したサービスを提供するためのソフトウェアの機能のうち、主にサーバサイドの機能の実現に主たる責任を持つ
		クラウドエンジニア/SRE	デジタル技術を活用したサービスを提供するためのソフトウェアの開発・運用環境の最適化と信頼性の向上に責任を持つ
		フィジカルコンピューティングエンジニア	デジタル技術を活用したサービスを提供するためのソフトウェアの実現において、現実世界（物理領域）のデジタル化を担い、デバイスを含めたソフトウェア機能の実現に責任を持つ
5	サイバーセキュリティ	サイバーセキュリティマネージャー	顧客価値を拡大するビジネスの企画立案に際して、デジタル活用に伴うサイバーセキュリティリスクを検討・評価するとともに、その影響を抑制するための対策の管理・統制の主導を通じて、顧客価値の高いビジネスへの信頼感向上に貢献する
		サイバーセキュリティエンジニア	事業実施に伴うデジタル活用関連のサイバーセキュリティリスクを抑制するための対策の導入・保守・運用を通じて、顧客価値の高いビジネスの安定的な提供に貢献する

● DXスキル診断システムについて

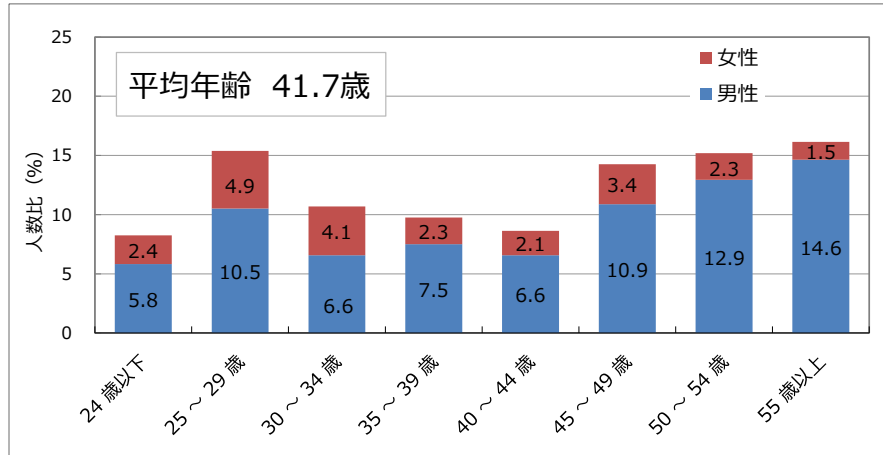
DXスキル診断システムを用いた診断結果は、レベル0.0～4.9の値で表示。各レベル値の定義は以下のとおり。

レベル区分	レベル値の範囲	定 義
レベル4	4.0 ～ 4.9	プロフェッショナルとしてスキルの専門分野が確立し、自らのスキルを活用することによって、独力で業務上の課題の発見と解決をリードするレベル。社内において、プロフェッショナルとして求められる経験の知識化とその応用（組織内での技術支援）に貢献しており、ハイレベルのプレーヤーとして認められる。
レベル3	3.0 ～ 3.9	要求された作業を全て独力で遂行し、必要な応用的知識・技能を必要とする業務を担当することができる。
レベル2	2.0 ～ 2.9	最低限必要な基礎知識を有し、上位者の指導の下に、要求された作業を担当することができる。
レベル1	1.0 ～ 1.9	最低限必要な基礎知識を有している。
未経験	0.0 ～ 0.9	未経験レベル（詳細定義なし）

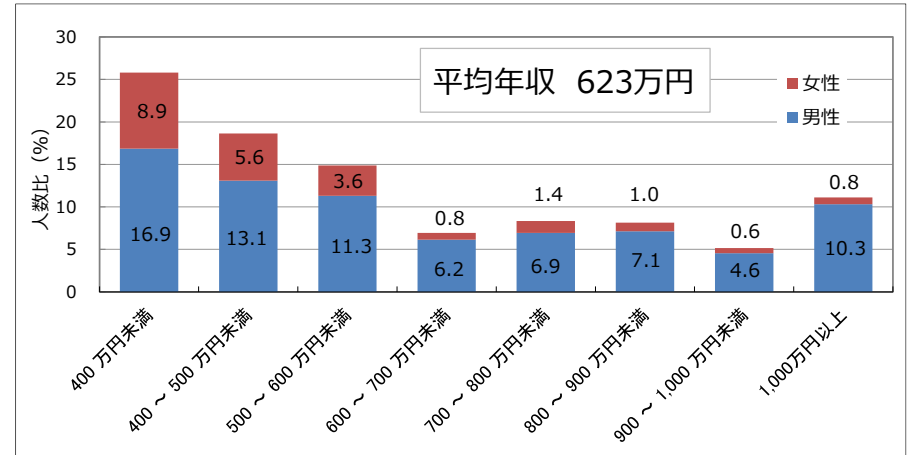
2. 調査結果

回答者の属性

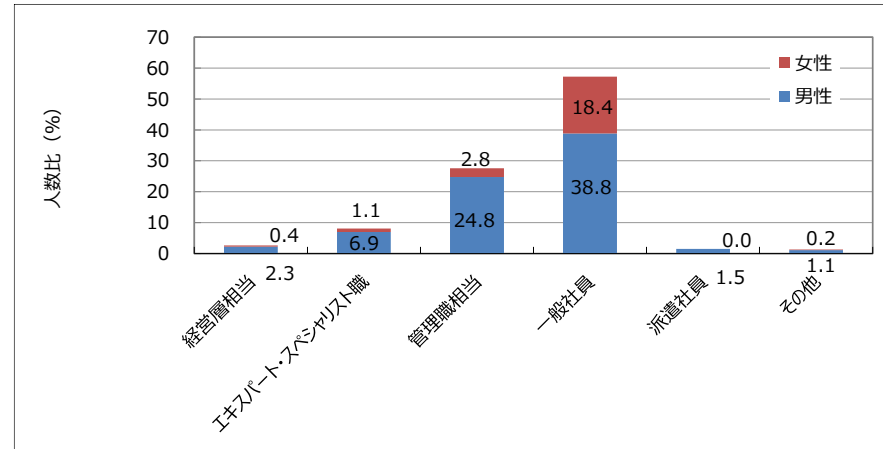
1-1. 年齢



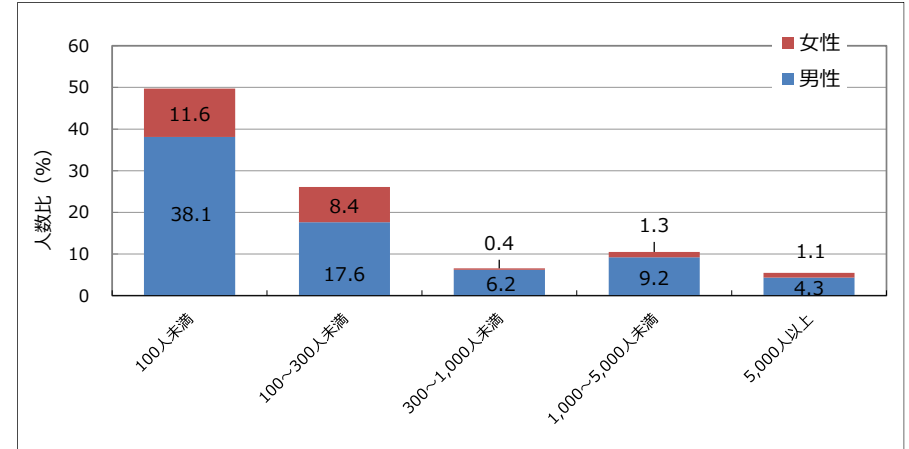
1-2. 年収



1-3. 役職

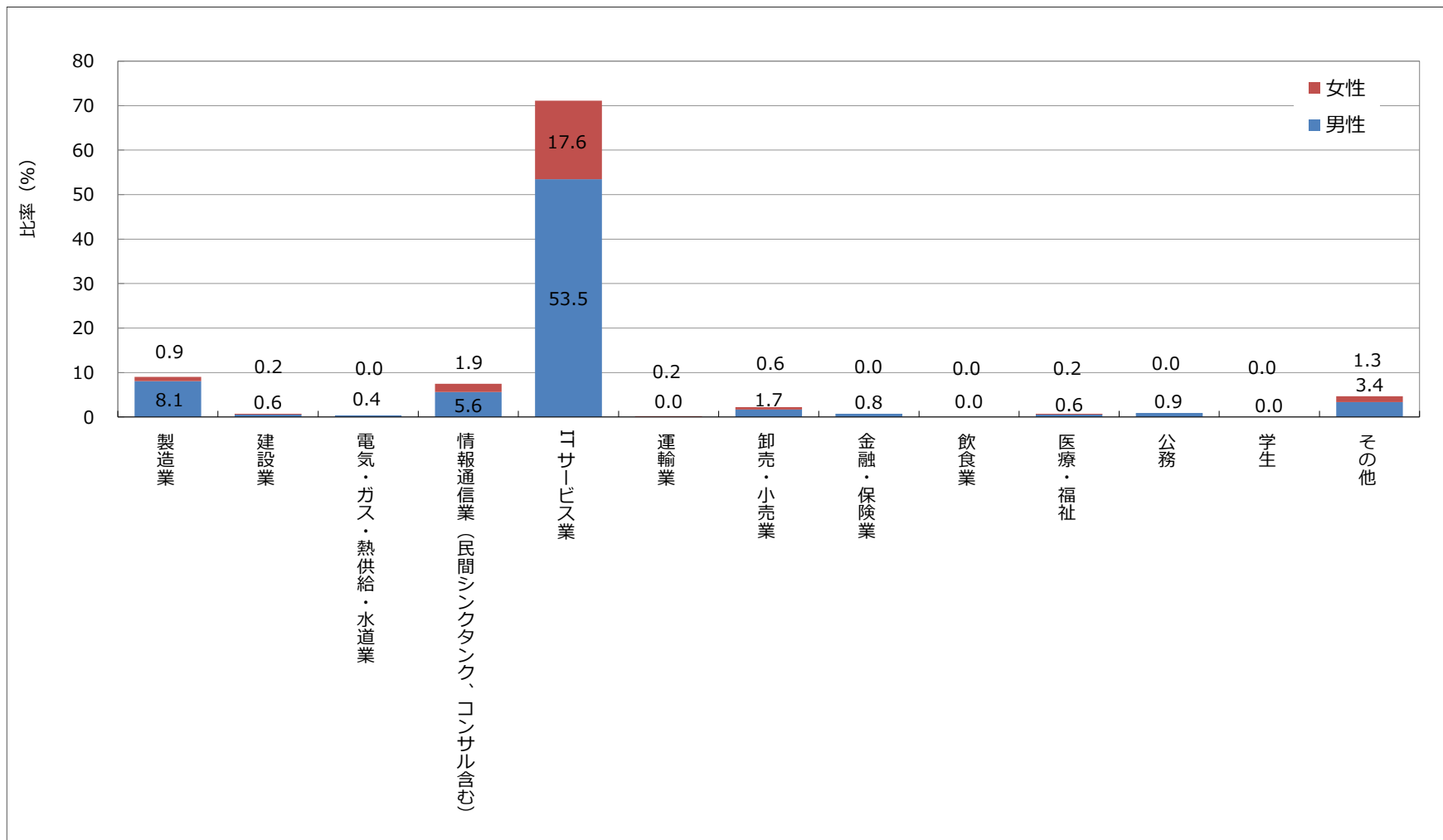


1-4. 所属企業の規模



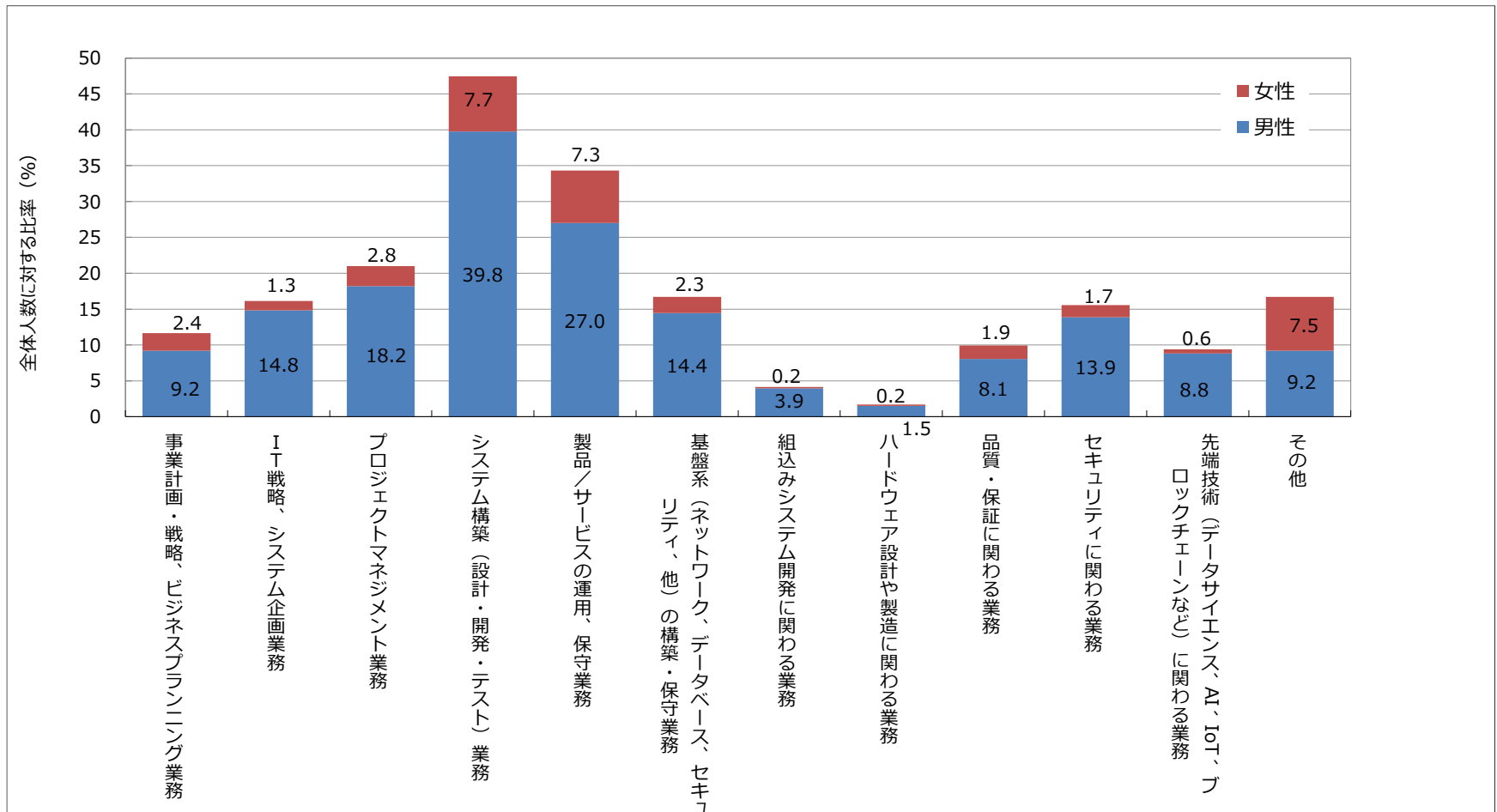
回答者の属性

1-5. 所属している業種



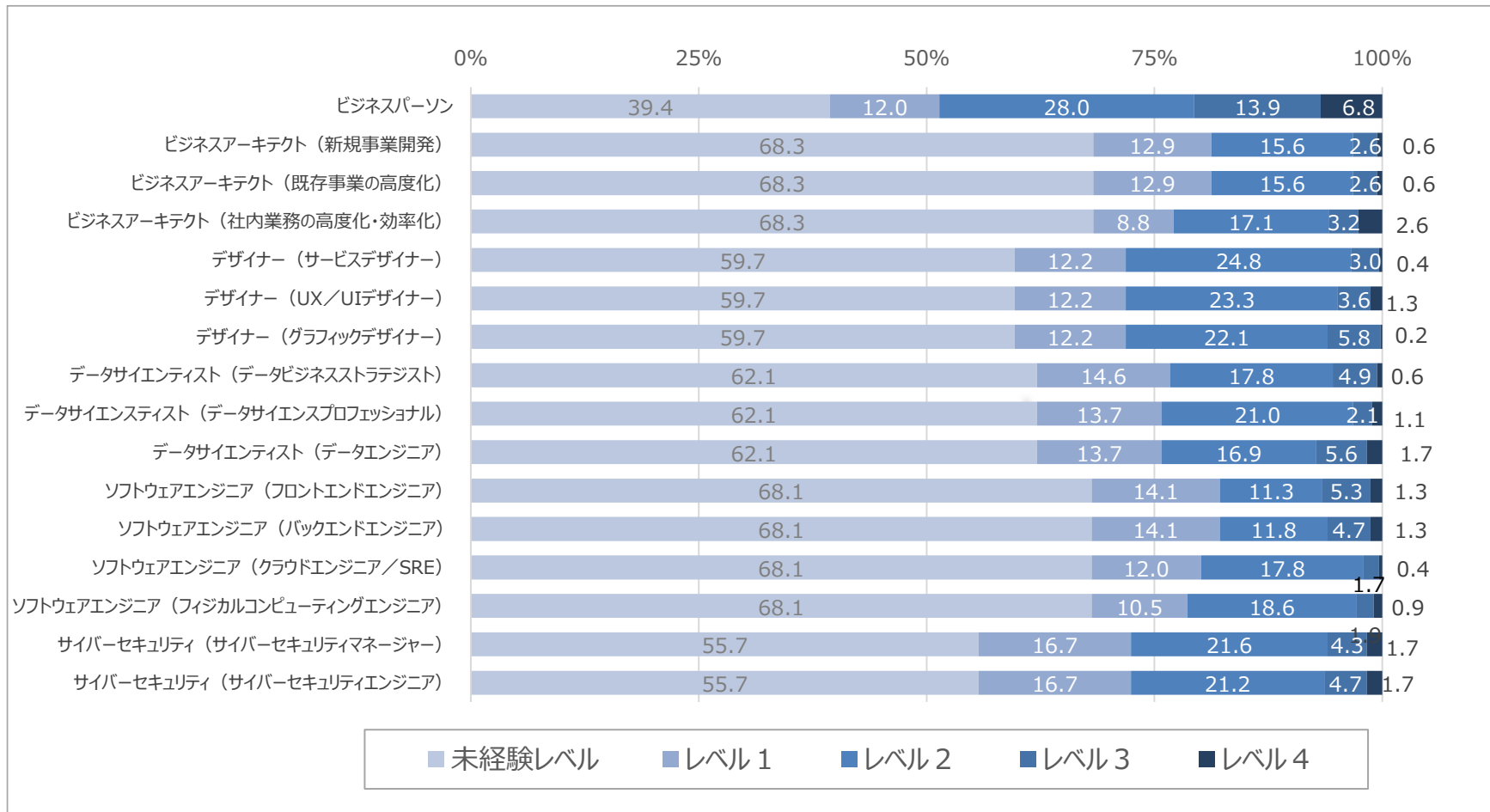
回答者の属性

1-6. 担当している主な役割（複数選択）



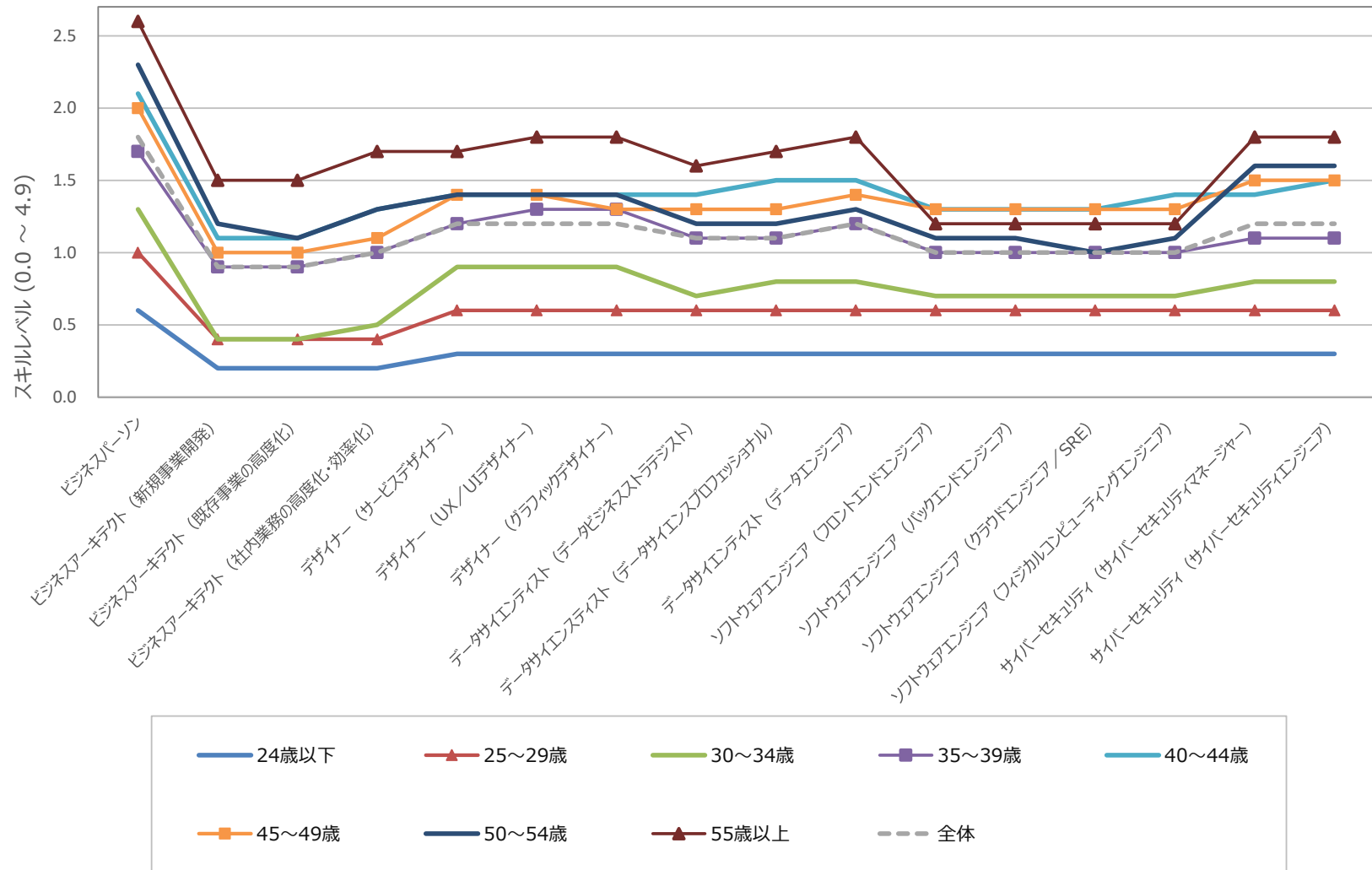
ITスキル診断

2-1. 役割／ロールごとのスキルレベル分布



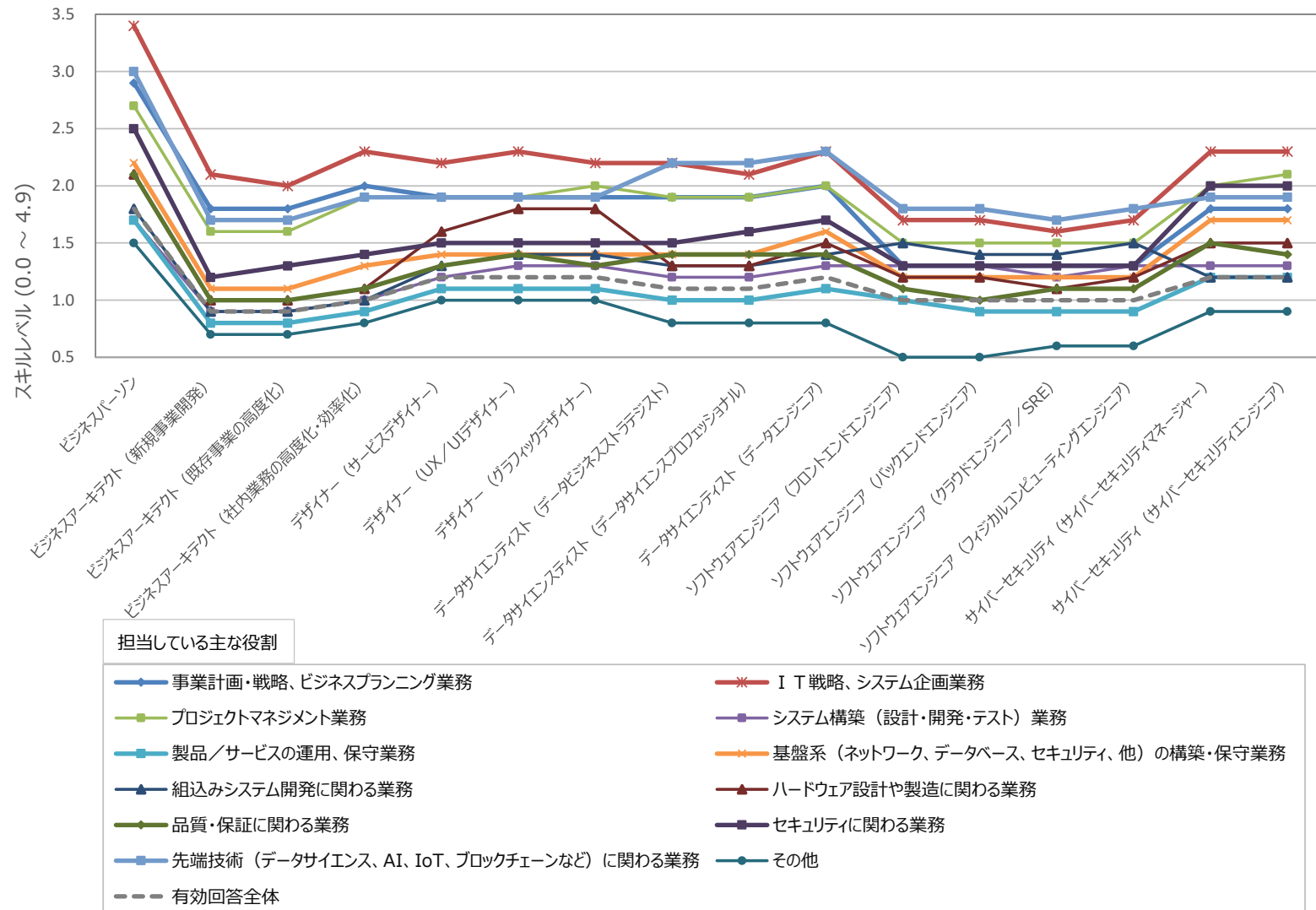
ITスキル診断

2-2. 役割／ロールごとのスキルレベル平均（年齢層別）



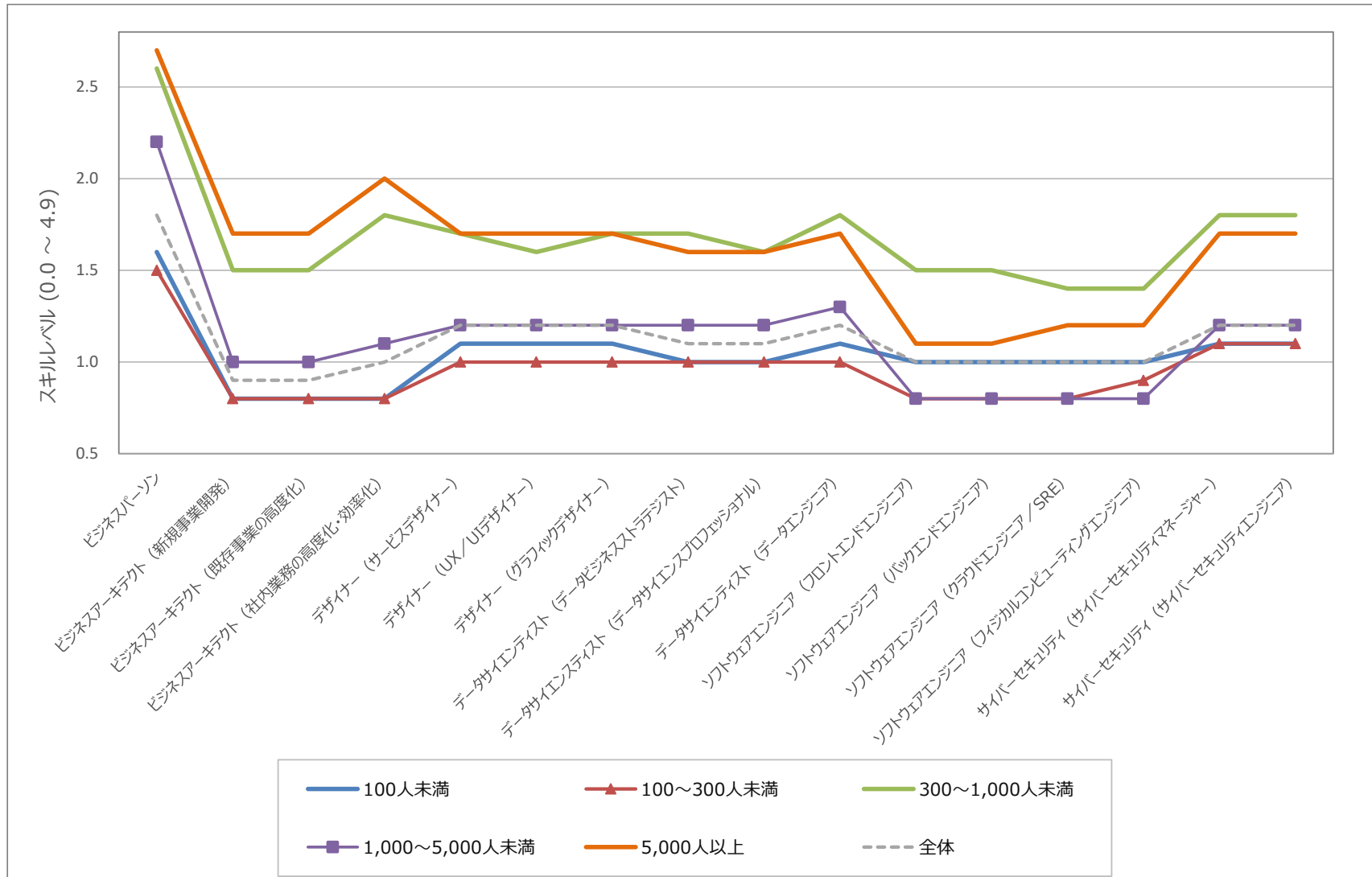
ITスキル診断

2-3. 役割／ロールごとのスキルレベル平均（担当役割別）



ITスキル診断

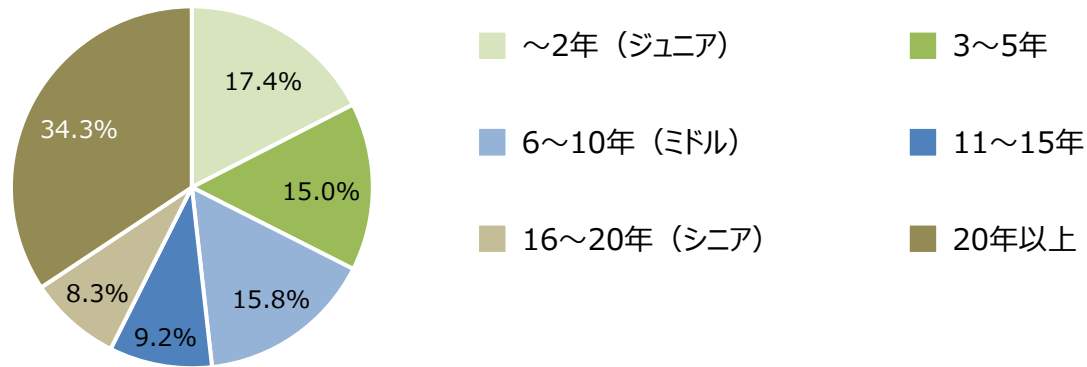
2-4. 役割／ロールごとのスキルレベル平均（所属企業の規模別）



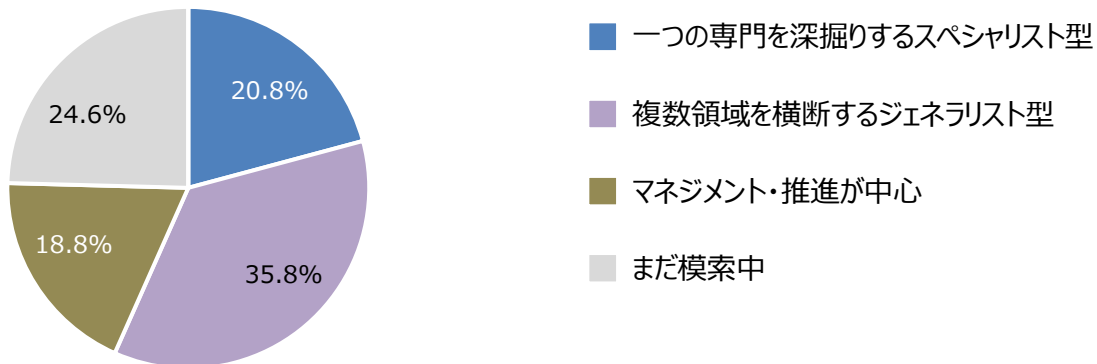
アンケート結果

【あなたの業務状況】

3-1. あなたのIT実務経験年数はどれくらいですか？【単一選択】

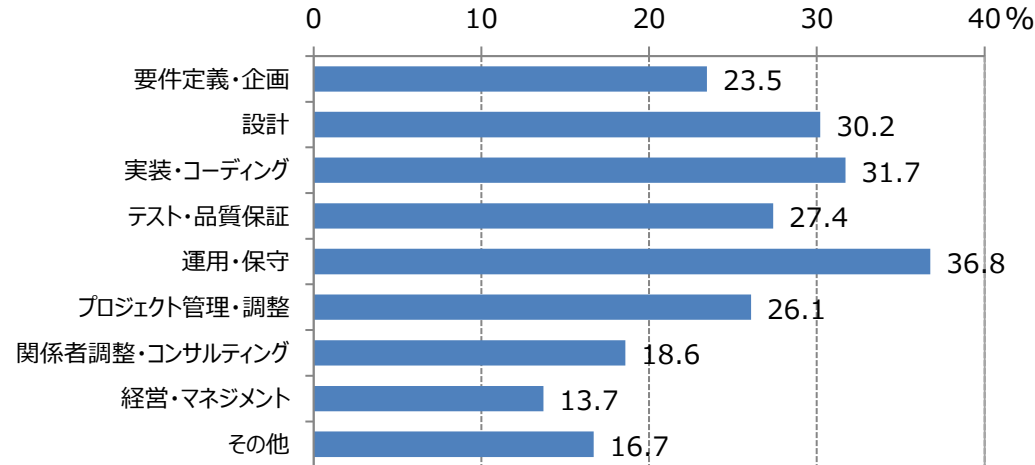


3-2. あなたのキャリア類型として最も近いものはどれですか？【単一選択】



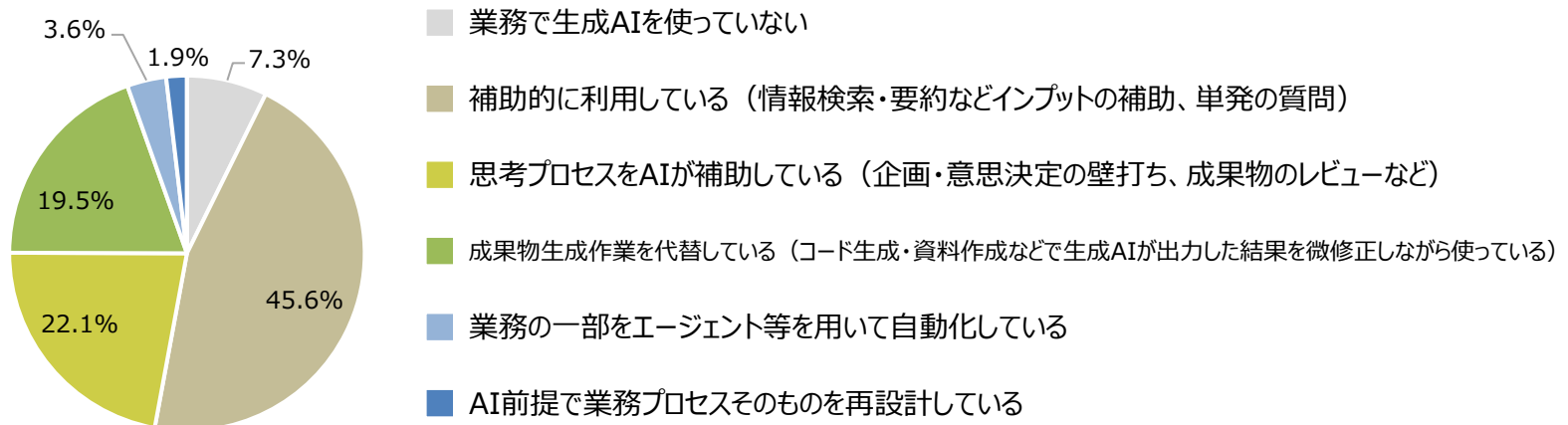
アンケート結果

3-3. 普段、業務の比重が大きい工程はどこですか？【複数選択】



【AI活用レベル／個人のAI活用レベル】

3-4. あなたの業務においてAIの活用度合いは次のうちどれが最も当てはまりますか？【単一選択】

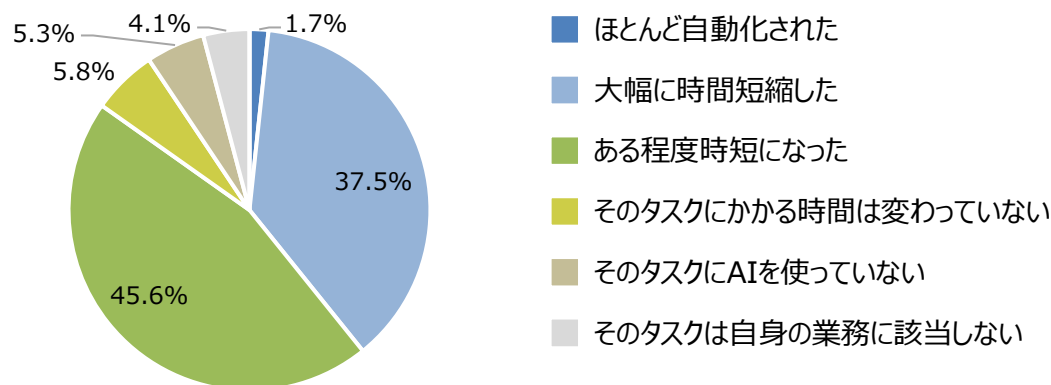


アンケート結果

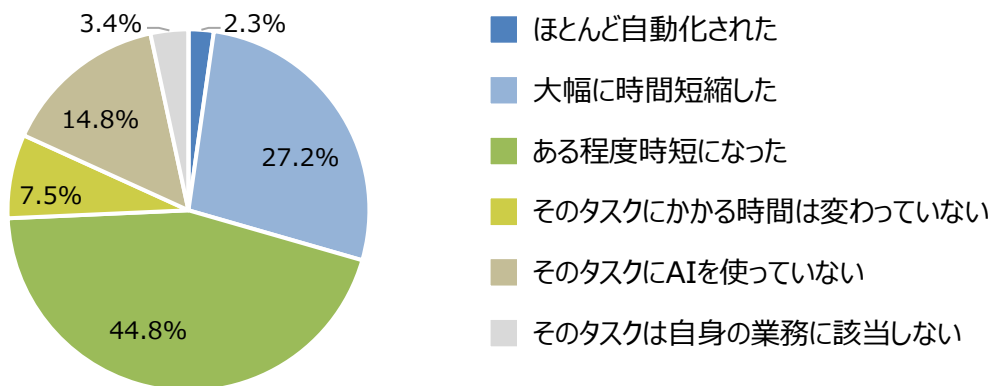
【AI活用レベル／業務プロセスごとのAI活用状況】

3-5.それぞれの業務プロセスにおけるあなたの生成AI活用効果について、当てはまるものを選んでください。【単一選択】

① 情報収集・検索・要約

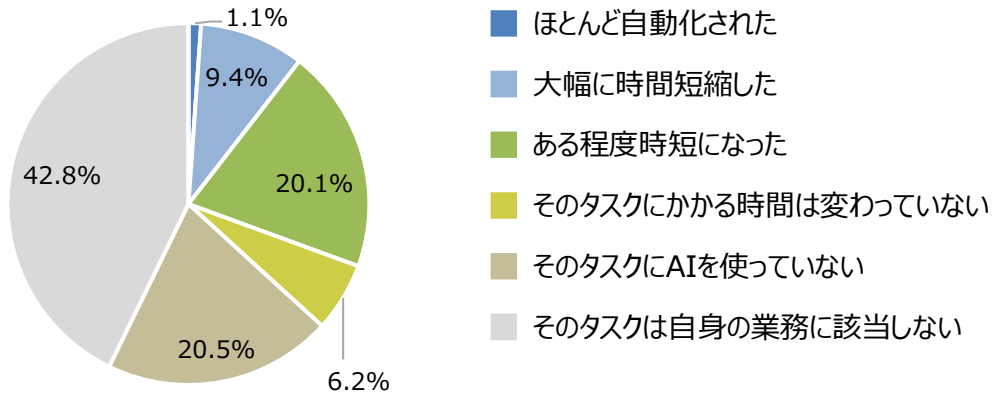


② 文書・資料・メールの作成

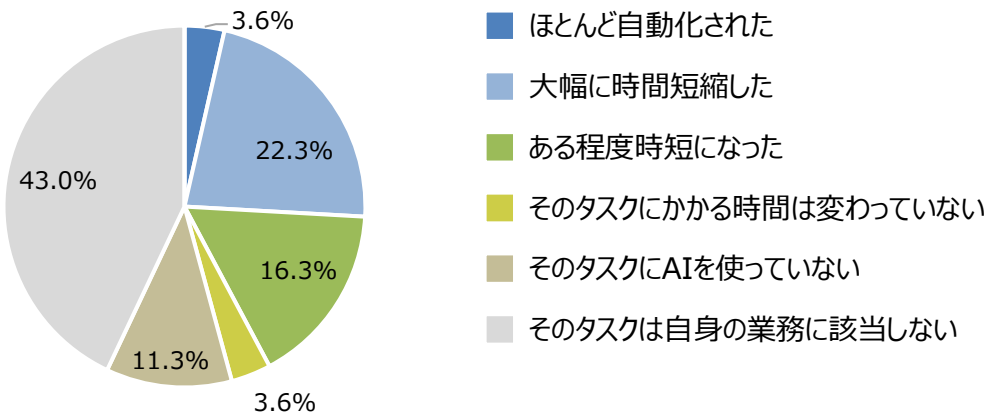


アンケート結果

③ 設計（システム設計・構成設計・UI設計等）

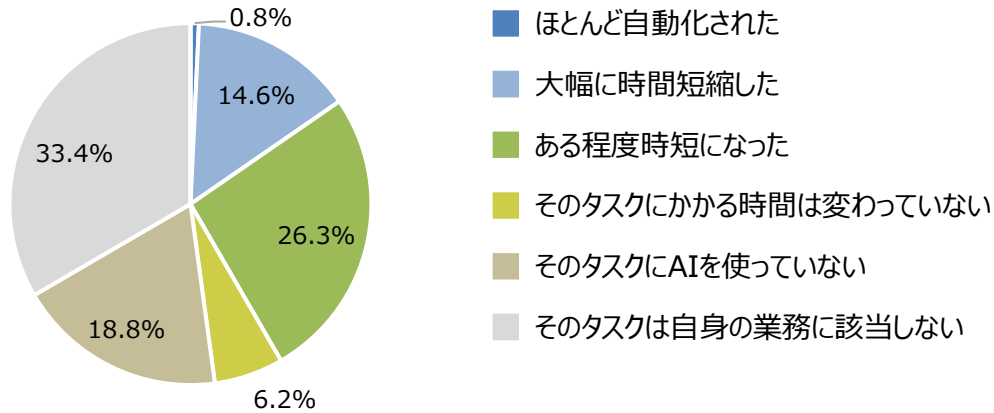


④ コーディング・プログラミング

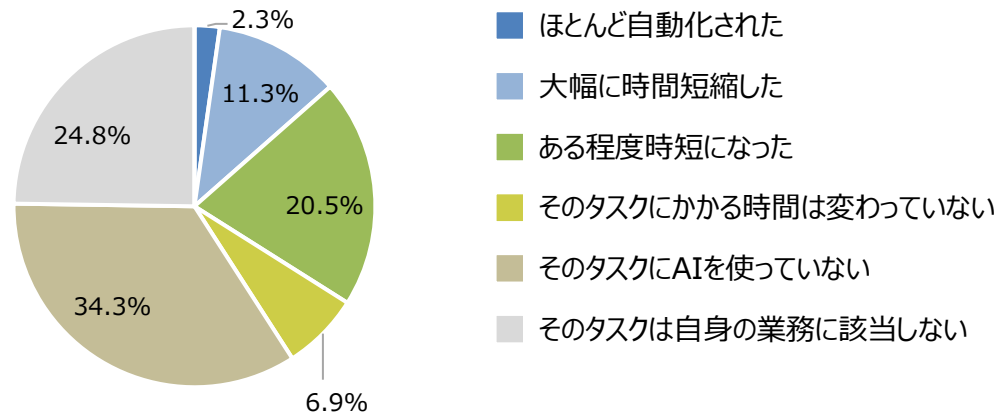


アンケート結果

⑤ レビュー・品質チェック・トラブルシューティング

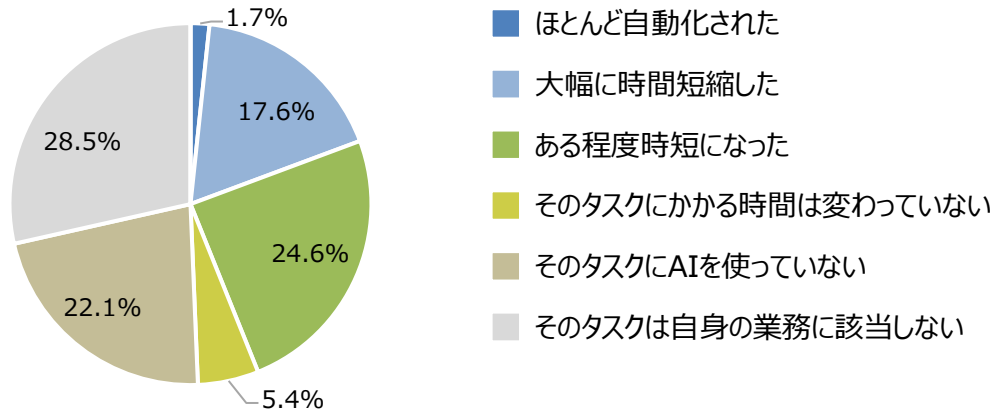


⑥ 定型入力・記録業務

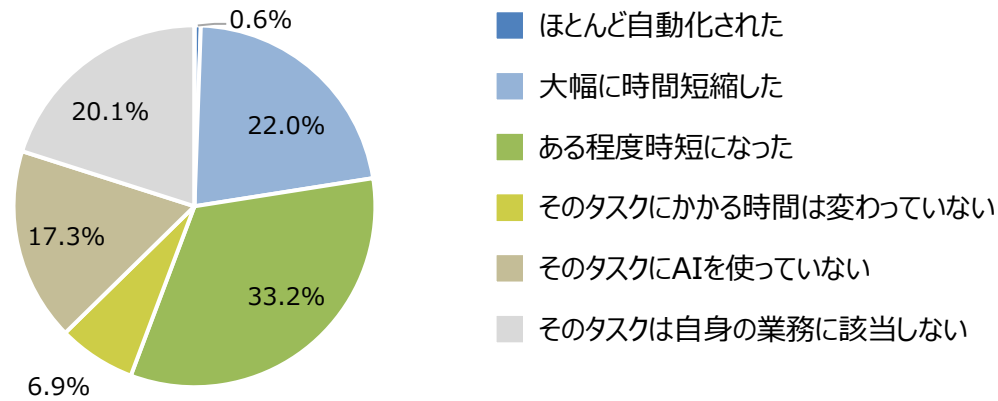


アンケート結果

⑦ データ分析・集計・可視化

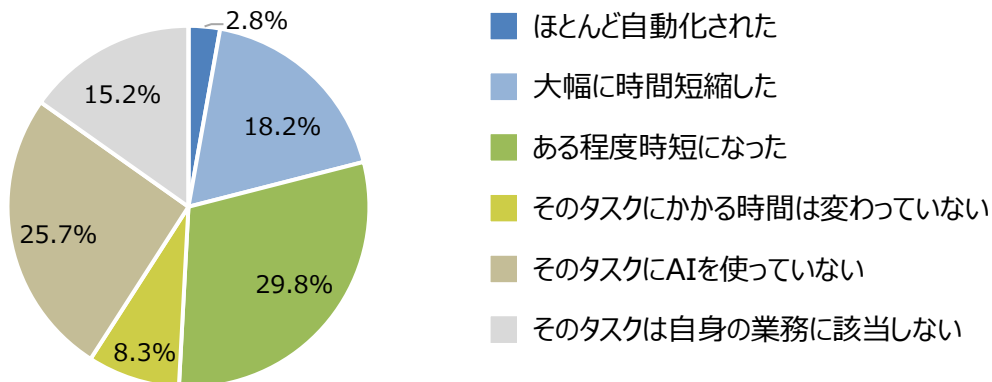


⑧ 企画・アイデア出し・業務設計（思考のアウトプット）



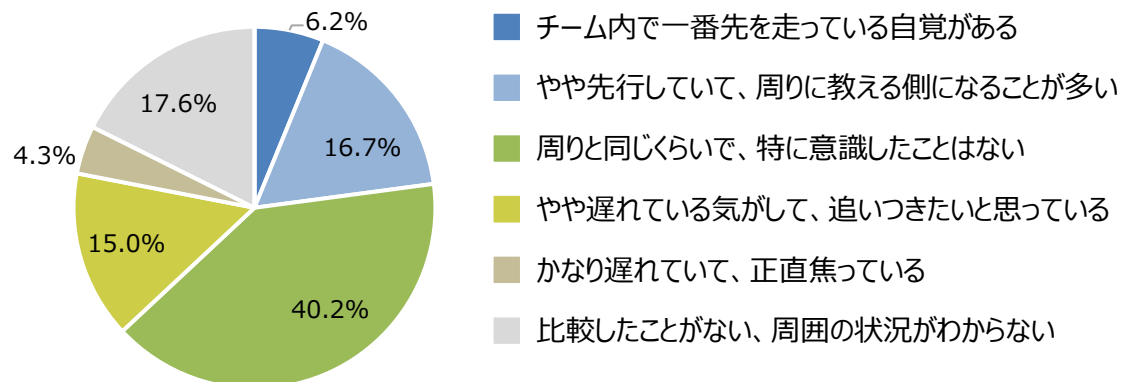
アンケート結果

⑨ 社内外のコミュニケーション（議事録・問い合わせ対応）



【AI活用レベル／組織のAI活用レベル】

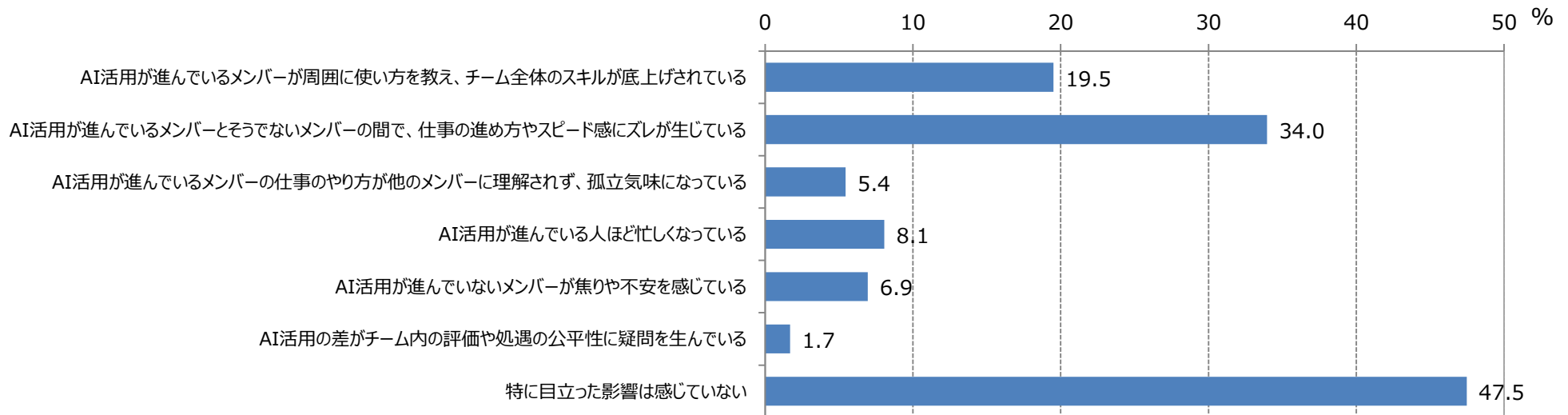
3-6. チームの中で生成AI活用について、あなたは今どんな立ち位置にいますか？ 【単一選択】



アンケート結果

【AI活用レベル／AI活用レベルの差異による影響】

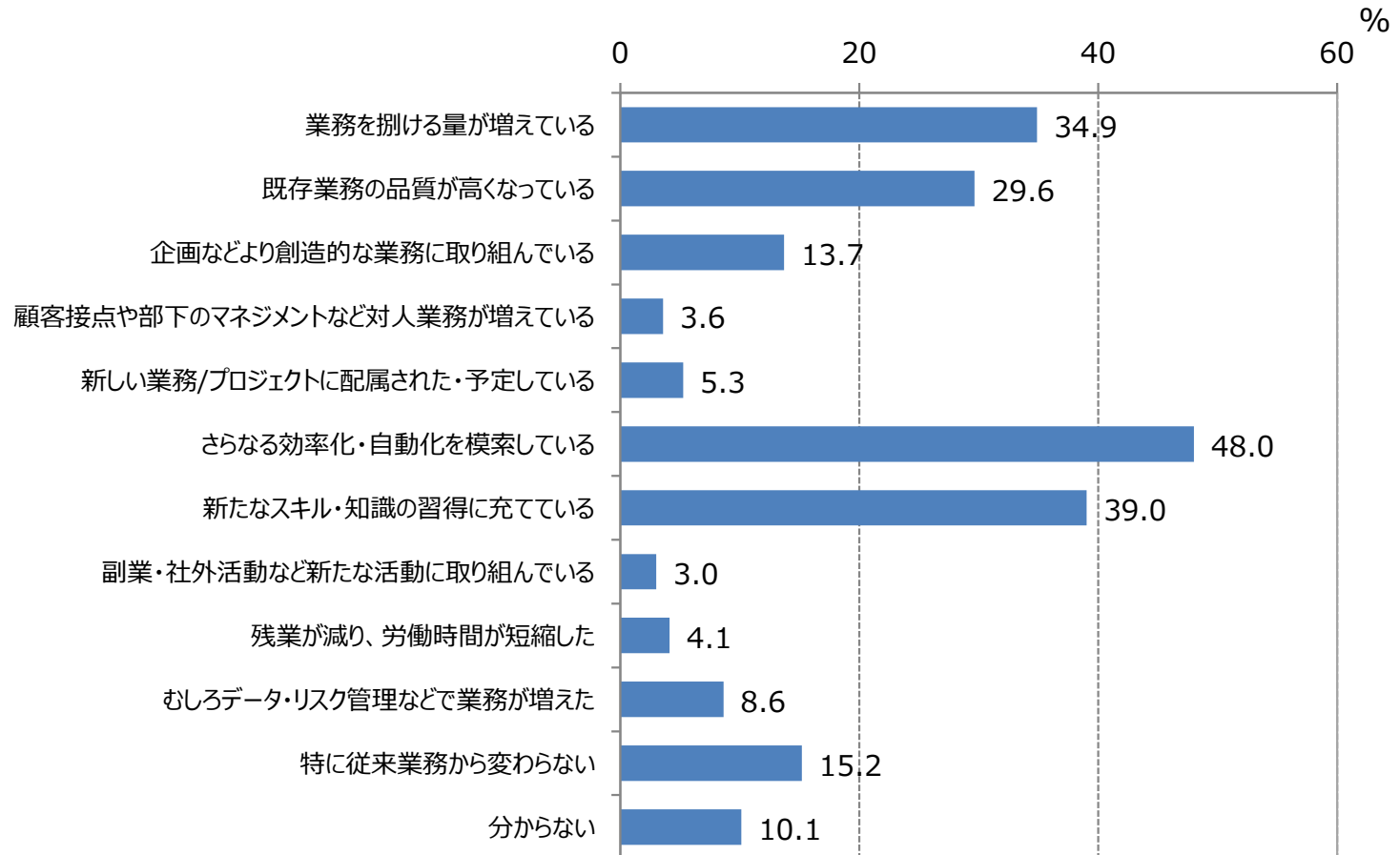
3-7. チーム内で生成AIの活用度に差がある場合、あなたが実際に経験・実感している影響をすべて選んでください。【複数選択】



アンケート結果

【AI活用による変化／生成AIの効果】

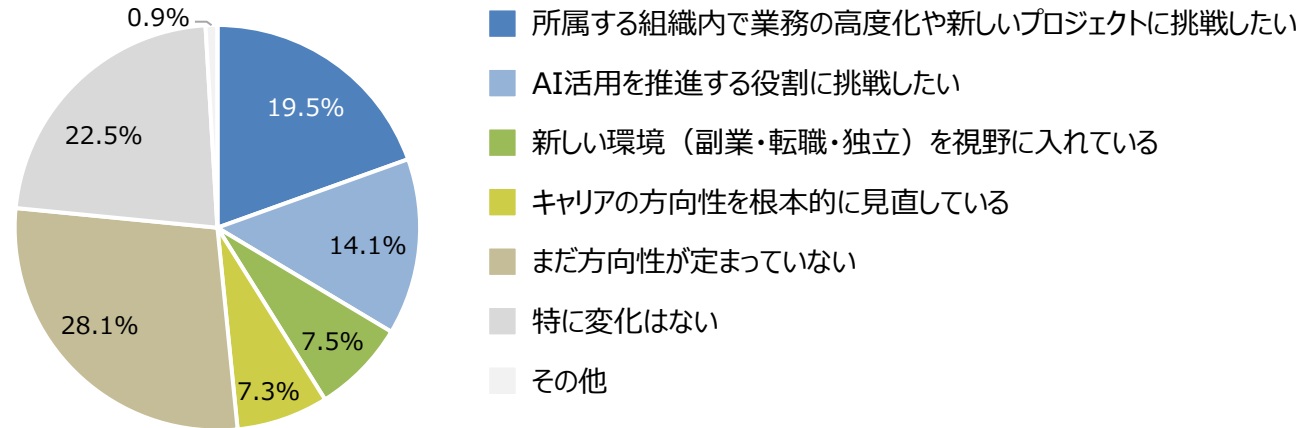
3-8. 実際に生成AIの登場によって業務でどのような変化が起きていますか？【複数選択】



アンケート結果

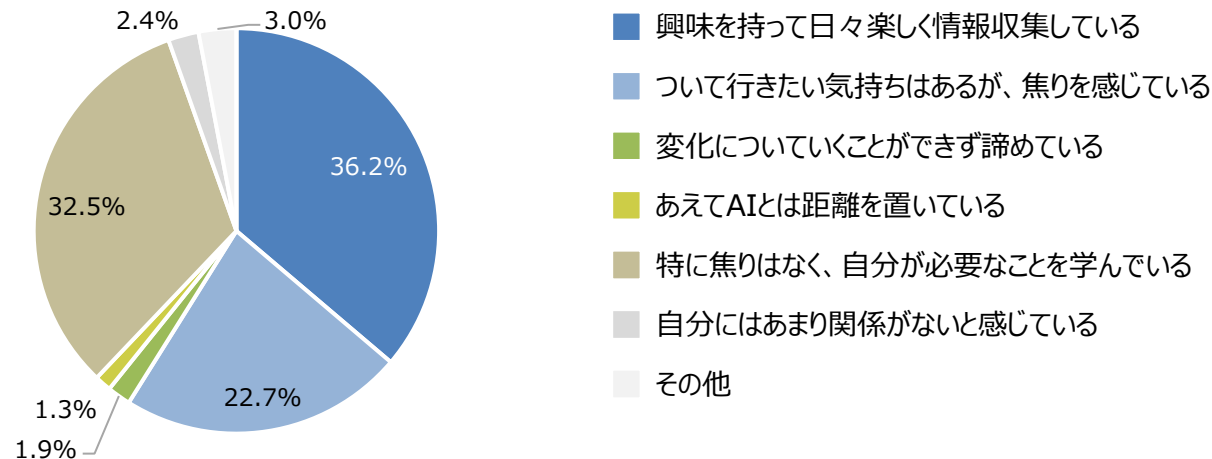
【AI活用による変化／生成AIへの期待】

3-9. 生成AIの登場により、今後のキャリアについての考えはどのように変化していますか？【単一選択】



【AI活用による変化／感情の変化】

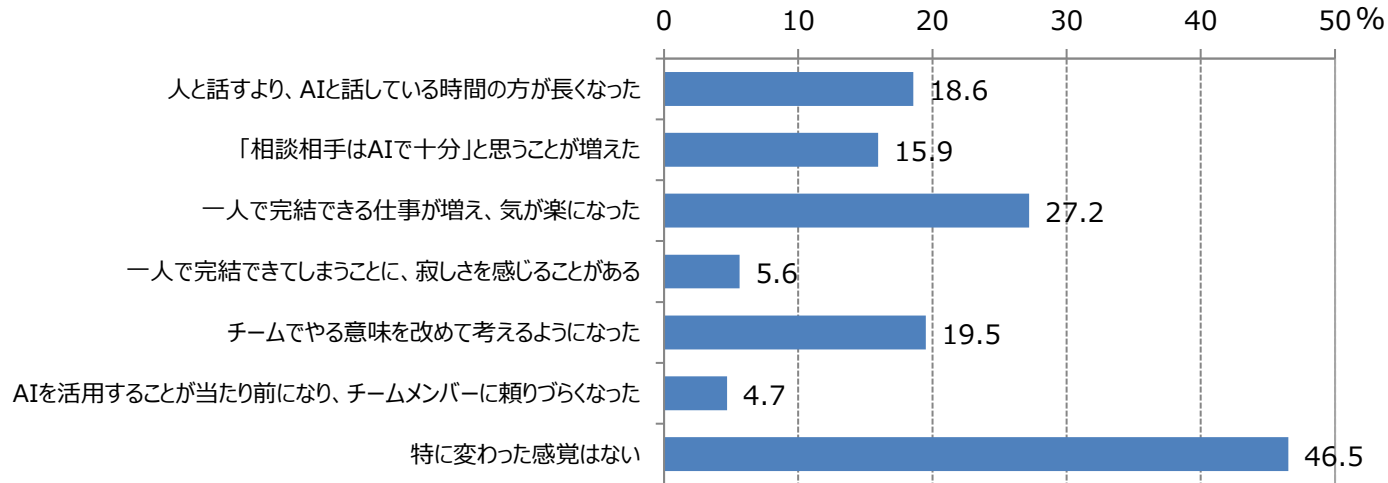
3-10. AIの進化についてどのように感じていますか？もっとも当てはまるものを選択してください。【単一選択】



アンケート結果

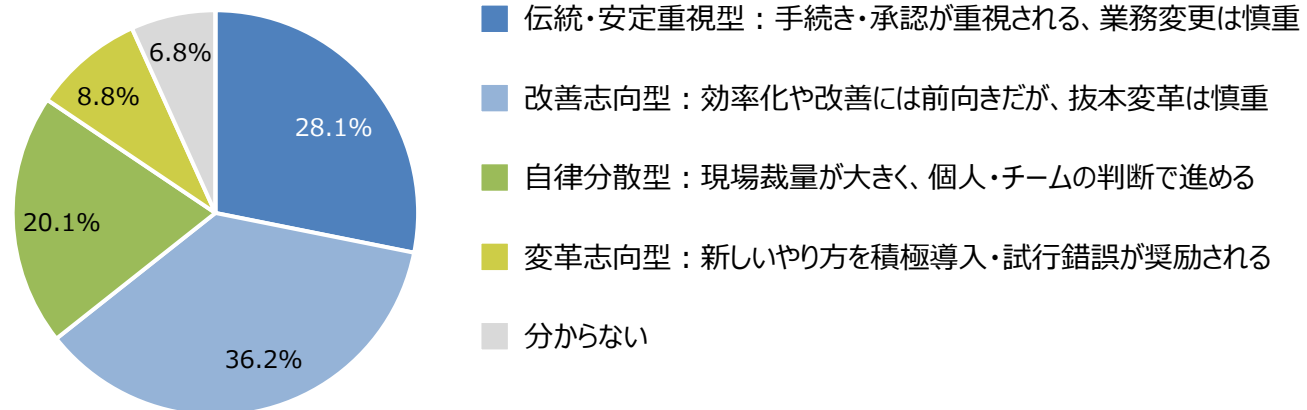
【AI活用による変化／働き方の変化】

3-11. AI活用によって、チームでの働き方やコミュニケーションのあり方について感じていることとして、当てはまるものをすべて選んでください。【複数選択】



【変革の促進要因・阻害要因／業務の性質】

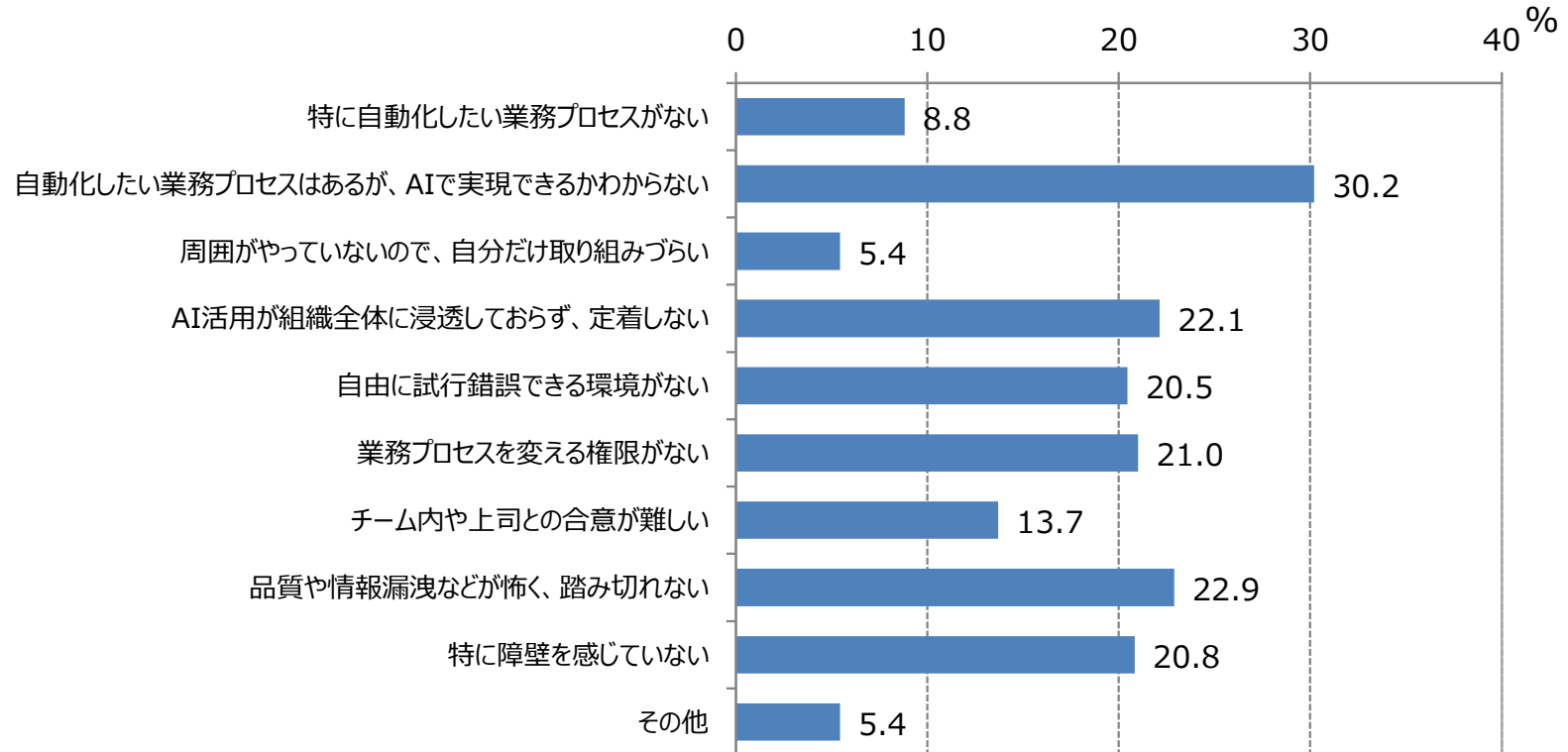
3-12. あなたの職場の組織風土はどれに近いですか？【単一選択】



アンケート結果

【変革の促進要因・阻害要因／変革の阻害要因】

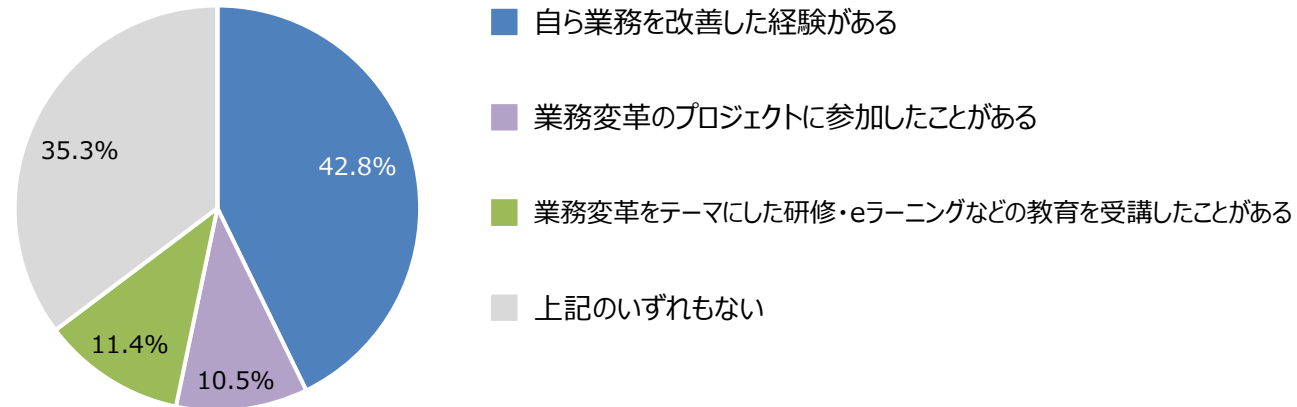
3-13.業務を変える上で障壁に感じる要素はどれですか？【複数選択】



アンケート結果

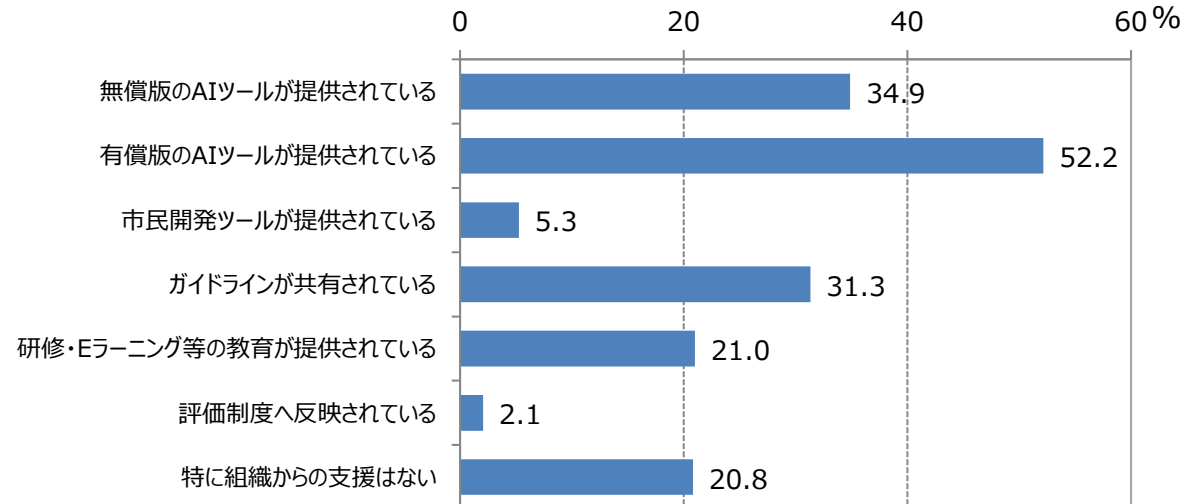
【変革の促進要因・阻害要因／業務変革の経験】

3-14.これまで自身や組織の業務プロセスを見直し、改善した経験がありますか？【単一選択】



【変革の促進要因・阻害要因／組織からの支援】

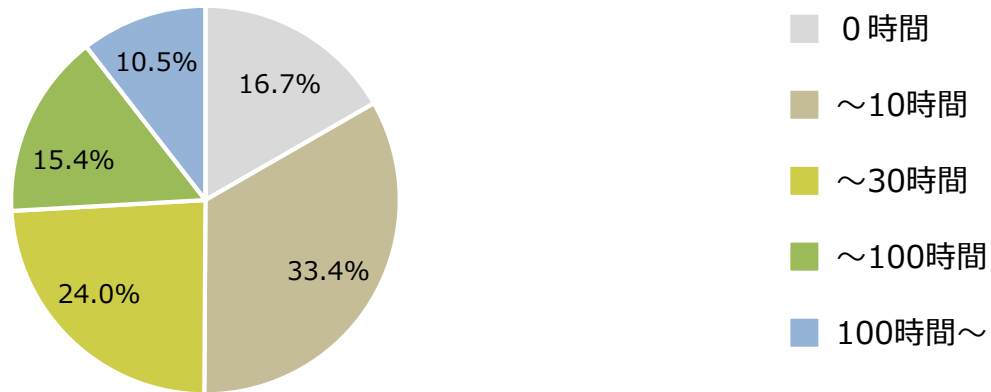
3-15. AIを活用した業務変革に向けた組織の支援として、あなた自身が実際に利用できる・適用されているものをすべて選んでください。【複数選択】



アンケート結果

【変革の促進要因・阻害要因／AIの学習意欲】

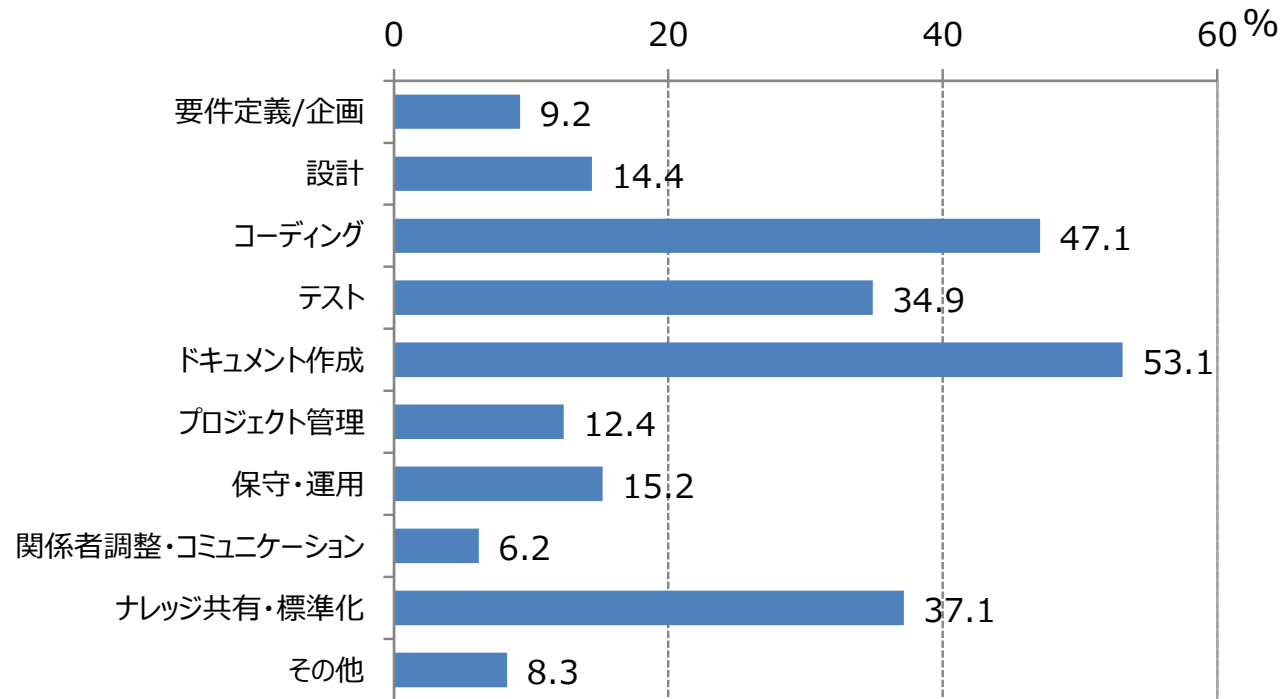
3-16.この1年で、生成AI関連の学習に使った時間を教えてください。【単一選択】



アンケート結果

【今後必要な人材像／不要になりつつある業務】

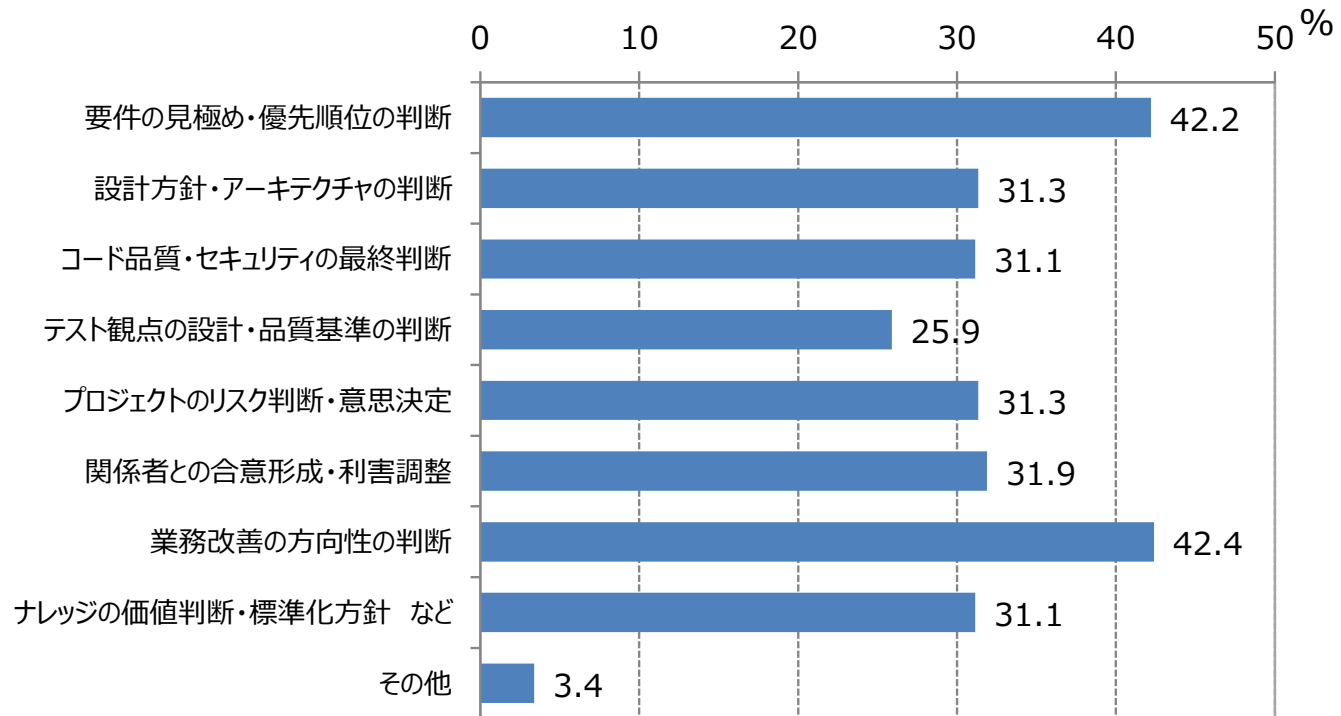
3-17.自分の業務のうち、1～2年以内に「作業そのもの」をAIに任せると必要があると思うものはどれですか？【複数選択】



アンケート結果

【今後必要な人材像／重要性が増している能力】

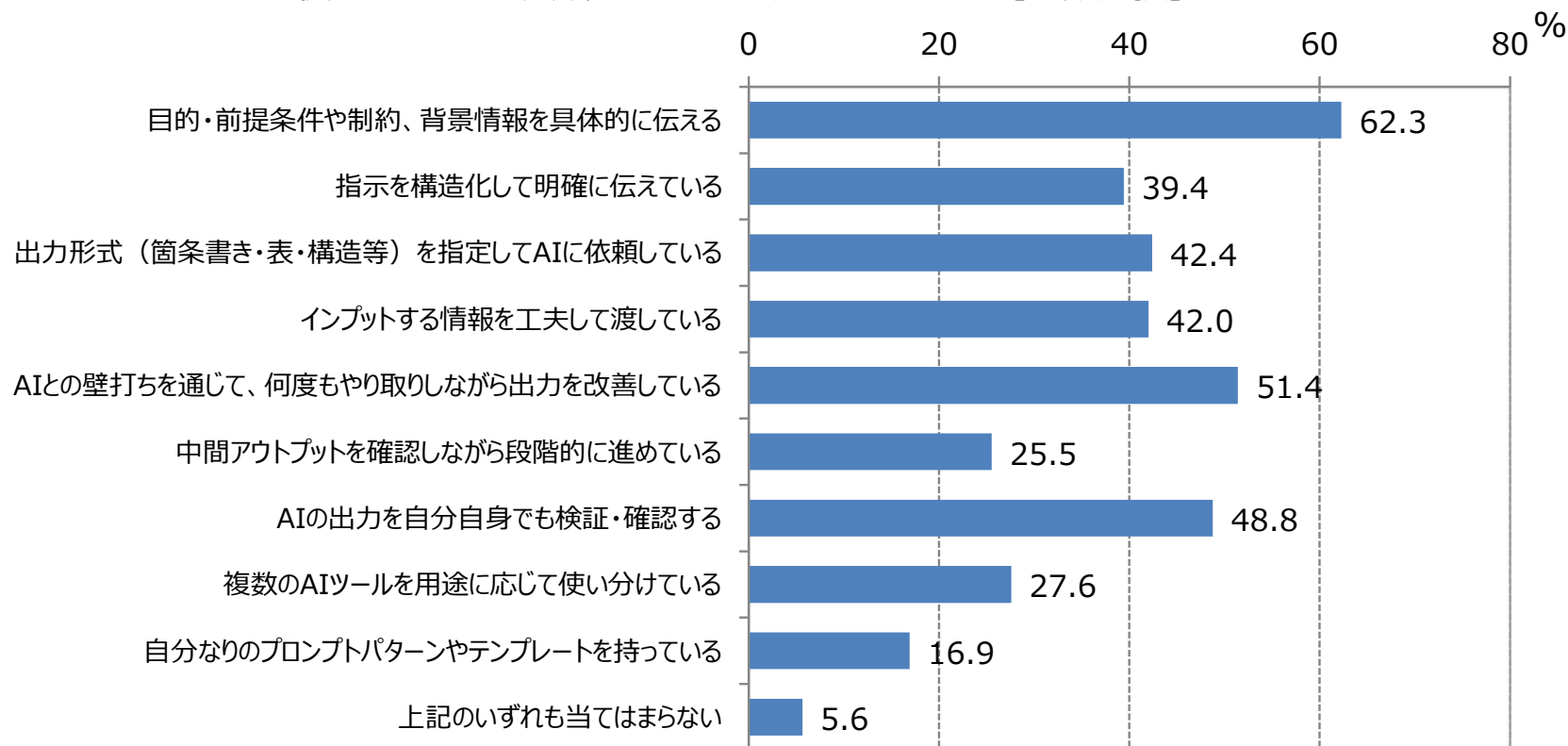
3-18. AI活用が進む中で、今後自身が関与を強めたいと思う業務はどれですか？【複数選択】



アンケート結果

【今後必要な人材像／AIをどのようにコントロールしているか】

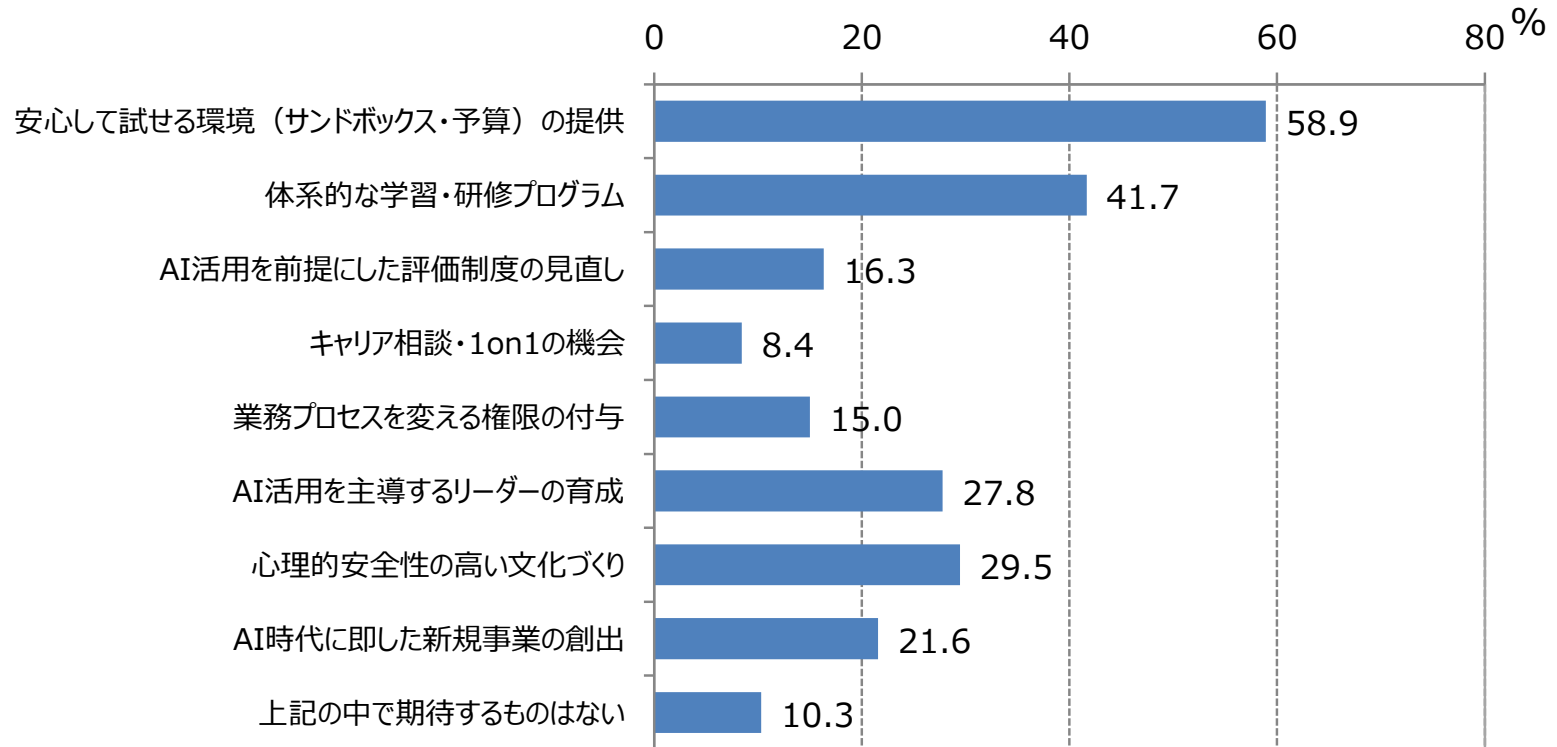
3-19. AIを上手く使うためにいつも実践していることを選んでください。【複数選択】



アンケート結果

【今後必要な人材像／組織からの支援】

3-20. AI時代を生き抜くために、会社・組織に特に強く期待していることは何ですか？【複数選択】



3. 資料編

(グラフデータ)

グラフデータ（回答者の属性）

1-1. 年齢

年齢層	人数				比率（％）			
	全体	男性	女性	無回答	全体	男性	女性	無回答
24 歳以下	44	31	13	0	8.3	5.8	2.4	0.0
25 ～ 29 歳	84	56	26	2	15.8	10.5	4.9	0.4
30 ～ 34 歳	57	35	22	0	10.7	6.6	4.1	0.0
35 ～ 39 歳	52	40	12	0	9.8	7.5	2.3	0.0
40 ～ 44 歳	46	35	11	0	8.6	6.6	2.1	0.0
45 ～ 49 歳	78	58	18	2	14.6	10.9	3.4	0.4
50 ～ 54 歳	83	69	12	2	15.6	12.9	2.3	0.4
55 歳以上	89	78	8	3	16.7	14.6	1.5	0.6
全体	533	402	122	9	100.0	75.4	22.9	1.7

1-2. 年収

区分	人数				比率（％）			
	全体	男性	女性	無回答	全体	男性	女性	無回答
400 万円未満	131	85	45	1	26.0	16.9	8.9	0.2
400 ～ 500 万円未満	96	66	28	2	19.0	13.1	5.6	0.4
500 ～ 600 万円未満	75	57	18	0	14.9	11.3	3.6	0.0
600 ～ 700 万円未満	36	31	4	1	7.1	6.2	0.8	0.2
700 ～ 800 万円未満	43	35	7	1	8.5	6.9	1.4	0.2
800 ～ 900 万円未満	41	36	5	0	8.1	7.1	1.0	0.0
900 ～ 1,000 万円未満	26	23	3	0	5.2	4.6	0.6	0.0
1,000万円以上	56	52	4	0	11.1	10.3	0.8	0.0
全体	504	385	114	5	100.0	76.4	22.6	1.0

有効回答数：504

グラフデータ（回答者の属性）

1-3. 役職

区分	人数				比率（％）			
	全体	男性	女性	無回答	全体	男性	女性	無回答
経営層相当	14	12	2	0	2.6	2.3	0.4	0.0
エキスパート・スペシャリスト職	44	37	6	1	8.3	6.9	1.1	0.2
管理職相当	148	132	15	1	27.8	24.8	2.8	0.2
一般社員	309	207	98	4	58.0	38.8	18.4	0.8
派遣社員	8	8	0	0	1.5	1.5	0.0	0.0
その他	10	6	1	3	1.9	1.1	0.2	0.6
全体	533	402	122	9	100.0	75.4	22.9	1.7

1-4. 所属企業の規模

区分	人数				比率（％）			
	全体	男性	女性	無回答	全体	男性	女性	無回答
100人未満	270	203	62	5	50.7	38.1	11.6	0.9
100～300人未満	141	94	45	2	26.5	17.6	8.4	0.4
300～1,000人未満	35	33	2	0	6.6	6.2	0.4	0.0
1,000～5,000人未満	57	49	7	1	10.7	9.2	1.3	0.2
5,000人以上	30	23	6	1	5.6	4.3	1.1	0.2
全体	533	402	122	9	100.0	75.4	22.9	1.7

グラフデータ（回答者の属性）

1-5. 所属している業種

区分	人数				比率（％）			
	全体	男性	女性	無回答	全体	男性	女性	無回答
製造業	48	43	5	0	9.0	8.1	0.9	0.0
建設業	4	3	1	0	0.8	0.6	0.2	0.0
電気・ガス・熱供給・水道業	2	2	0	0	0.4	0.4	0.0	0.0
情報通信業（民間シンクタンク、コンサル含む）	40	30	10	0	7.5	5.6	1.9	0.0
ITサービス業	384	285	94	5	72.0	53.5	17.6	0.9
運輸業	1	0	1	0	0.2	0.0	0.2	0.0
卸売・小売業	12	9	3	0	2.3	1.7	0.6	0.0
金融・保険業	4	4	0	0	0.8	0.8	0.0	0.0
飲食業	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
医療・福祉	4	3	1	0	0.8	0.6	0.2	0.0
公務	5	5	0	0	0.9	0.9	0.0	0.0
学生	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	29	18	7	4	5.4	3.4	1.3	0.8
全体	533	402	122	9	100.0	75.4	22.9	1.7

グラフデータ（回答者の属性）

1-6. 担当している主な役割（複数選択）

区分	人数				全体人数に対する比率（％）			
	全体	男性	女性	無回答	全体	男性	女性	無回答
事業計画・戦略、ビジネスプランニング業務	62	49	13	0	11.6	9.2	2.4	0.0
I T戦略、システム企画業務	87	79	7	1	16.3	14.8	1.3	0.2
プロジェクトマネジメント業務	113	97	15	1	21.2	18.2	2.8	0.2
システム構築（設計・開発・テスト）業務	257	212	41	4	48.2	39.8	7.7	0.8
製品／サービスの運用、保守業務	185	144	39	2	34.7	27.0	7.3	0.4
基盤系（ネットワーク、データベース、セキュリティ、他）の構築・保守業務	89	77	12	0	16.7	14.4	2.3	0.0
組込みシステム開発に関わる業務	23	21	1	1	4.3	3.9	0.2	0.2
ハードウェア設計や製造に関わる業務	9	8	1	0	1.7	1.5	0.2	0.0
品質・保証に関わる業務	54	43	10	1	10.1	8.1	1.9	0.2
セキュリティに関わる業務	84	74	9	1	15.8	13.9	1.7	0.2
先端技術（データサイエンス、AI、IoT、ブロックチェーンなど）に関わる業務	50	47	3	0	9.4	8.8	0.6	0.0
その他	92	49	40	3	17.3	9.2	7.5	0.6
有効回答数	533	402	122	9	100.0	75.4	22.9	1.7

※複数選択のため、合計人数は有効回答数とは一致しない

グラフデータ（ITスキル診断）

2-1. 役割／ロールごとのスキルレベル分布

役割／ロール	人数（人）						比率（％）					
	合計	未経験レベル	レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	合計	未経験レベル	レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4
ビジネスパーソン	533	210	64	149	74	36	100.0	39.4	12.0	28.0	13.9	6.8
ビジネスアーキテクト（新規事業開発）	533	364	69	83	14	3	100.0	68.3	12.9	15.6	2.6	0.6
ビジネスアーキテクト（既存事業の高度化）	533	364	69	83	14	3	100.0	68.3	12.9	15.6	2.6	0.6
ビジネスアーキテクト（社内業務の高度化・効率化）	533	364	47	91	17	14	100.0	68.3	8.8	17.1	3.2	2.6
デザイナー（サービスデザイナー）	533	318	65	132	16	2	100.0	59.7	12.2	24.8	3.0	0.4
デザイナー（UX/UIデザイナー）	533	318	65	124	19	7	100.0	59.7	12.2	23.3	3.6	1.3
デザイナー（グラフィックデザイナー）	533	318	65	118	31	1	100.0	59.7	12.2	22.1	5.8	0.2
データサイエンティスト（データビジネスストラテジスト）	533	331	78	95	26	3	100.0	62.1	14.6	17.8	4.9	0.6
データサイエンティスト（データサイエンスプロフェッショナル）	533	331	73	112	11	6	100.0	62.1	13.7	21.0	2.1	1.1
データサイエンティスト（データエンジニア）	533	331	73	90	30	9	100.0	62.1	13.7	16.9	5.6	1.7
ソフトウェアエンジニア（フロントエンドエンジニア）	533	363	75	60	28	7	100.0	68.1	14.1	11.3	5.3	1.3
ソフトウェアエンジニア（バックエンドエンジニア）	533	363	75	63	25	7	100.0	68.1	14.1	11.8	4.7	1.3
ソフトウェアエンジニア（クラウドエンジニア／SRE）	533	363	64	95	9	2	100.0	68.1	12.0	17.8	1.7	0.4
ソフトウェアエンジニア（フィジカルコンピューティングエンジニア）	533	363	56	99	10	5	100.0	68.1	10.5	18.6	1.9	0.9
サイバーセキュリティ（サイバーセキュリティマネージャー）	533	297	89	115	23	9	100.0	55.7	16.7	21.6	4.3	1.7
サイバーセキュリティ（サイバーセキュリティエンジニア）	533	297	89	113	25	9	100.0	55.7	16.7	21.2	4.7	1.7

グラフデータ（ITスキル診断）

2-2. 役割／ロールごとのスキルレベル平均（年齢層別）

年齢層	人数	役割／ロール スキルレベル値															
		ビジネス パーソン	ビジネス アーキテク ト（新規事 業開発）	ビジネス アーキテク ト（既存事 業の高度 化）	ビジネス アーキテク ト（社内業 務の高度 化・効率 化）	デザイナー （サービス デザイ ナー）	デザイナー （UX/UIデ ザイナー）	デザイナー （グラ フィックデ ザイナー）	データサイ エンティスト （データ ビジネスス トラテジス ト）	データサイ エンティスト （データ サイエン スプロ フェッショ ナル）	データサイ エンティスト （データ エンジニア ）	ソフトウェ アエンジニア （フロン トエンドエ ンジニア）	ソフトウェ アエンジニア （バック エンドエン ジニア）	ソフトウェ アエンジニア （クラウド エンジニア ／SRE）	ソフトウェ アエンジニア （フィジ カルコン ピューティ ングエン ジニア）	サイバーセ キュリティ （サイバー セキュリ ティマネー ジャー）	サイバーセ キュリティ （サイバー セキュリ ティエン ジニア）
24歳以下	44	0.6	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
25～29歳	84	1.0	0.4	0.4	0.4	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
30～34歳	57	1.3	0.4	0.4	0.5	0.9	0.9	0.9	0.7	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8
35～39歳	52	1.7	0.9	0.9	1.0	1.2	1.3	1.3	1.1	1.1	1.2	1.0	1.0	1.0	1.0	1.1	1.1
40～44歳	46	2.1	1.1	1.1	1.3	1.4	1.4	1.4	1.4	1.5	1.5	1.3	1.3	1.3	1.4	1.4	1.5
45～49歳	78	2.0	1.0	1.0	1.1	1.4	1.4	1.3	1.3	1.3	1.4	1.3	1.3	1.3	1.3	1.5	1.5
50～54歳	83	2.3	1.2	1.1	1.3	1.4	1.4	1.4	1.2	1.2	1.3	1.1	1.1	1.0	1.1	1.6	1.6
55歳以上	89	2.6	1.5	1.5	1.7	1.7	1.8	1.8	1.6	1.7	1.8	1.2	1.2	1.2	1.2	1.8	1.8
全体	533	1.8	0.9	0.9	1.0	1.2	1.2	1.2	1.1	1.1	1.2	1.0	1.0	1.0	1.0	1.2	1.2

グラフデータ（ITスキル診断）

2-3. 役割／ロールごとのスキルレベル平均（担当している主な役割別）

担当している主な役割	人数	役割／ロール スキルレベル値															
		ビジネス パーソン	ビジネス アーキテク ト（新規事 業開発）	ビジネス アーキテク ト（既存事 業の高度 化）	ビジネス アーキテク ト（社内業 務の高度 化・効率 化）	デザイナー （サービス デザイ ナー）	デザイナー （UX/UI デザイ ナー）	デザイナー （グラ フィックデ ザイナー）	データサイ エンティス ト（データ ビジネス ストラジス ト）	データサイ エンティス ト（デー タサイエン スプロ フェッショ ナル）	データサイ エンティス ト（データ エンジニア ）	ソフトウェ アエンジニア （フロン トエンドエ ンジニア）	ソフトウェ アエンジニア （バック エンドエ ンジニア）	ソフトウェ アエンジニア （クラウ ドエンジニア ／SRE）	ソフトウェ アエンジニア （フィジ カルコン ピューティ ングエンジ ニア）	サイバーセ キュリティ （サイバー セキュリ ティマネー ジャー）	サイバーセ キュリティ （サイバー セキュリ ティエンジ ニア）
事業計画・戦略、ビジネスプランニング業務	62	2.9	1.8	1.8	2.0	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	2.0	1.3	1.3	1.3	1.3	1.8	1.8
IT戦略、システム企画業務	87	3.4	2.1	2.0	2.3	2.2	2.3	2.2	2.2	2.1	2.3	1.7	1.7	1.6	1.7	2.3	2.3
プロジェクトマネジメント業務	113	2.7	1.6	1.6	1.9	1.9	1.9	2.0	1.9	1.9	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.1
システム構築（設計・開発・テスト）業務	257	1.7	0.9	0.9	1.0	1.2	1.3	1.3	1.2	1.2	1.3	1.3	1.3	1.2	1.3	1.3	1.3
製品／サービスの運用、保守業務	185	1.7	0.8	0.8	0.9	1.1	1.1	1.1	1.0	1.0	1.1	1.0	0.9	0.9	0.9	1.2	1.2
基盤系（ネットワーク、データベース、セキュリティ、他）の構築・保守業務	89	2.2	1.1	1.1	1.3	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.6	1.2	1.2	1.2	1.2	1.7	1.7
組込みシステム開発に関わる業務	23	1.8	0.9	0.9	1.0	1.3	1.4	1.4	1.3	1.3	1.4	1.5	1.4	1.4	1.5	1.2	1.2
ハードウェア設計や製造に関わる業務	9	2.1	1.0	1.0	1.1	1.6	1.8	1.8	1.3	1.3	1.5	1.2	1.2	1.1	1.2	1.5	1.5
品質・保証に関わる業務	54	2.1	1.0	1.0	1.1	1.3	1.4	1.3	1.4	1.4	1.4	1.1	1.0	1.1	1.1	1.5	1.4
セキュリティに関わる業務	84	2.5	1.2	1.3	1.4	1.5	1.5	1.5	1.5	1.6	1.7	1.3	1.3	1.3	1.3	2.0	2.0
先端技術（データサイエンス、AI、IoT、ブロックチェーンなど）に関わる業務	50	3.0	1.7	1.7	1.9	1.9	1.9	1.9	2.2	2.2	2.3	1.8	1.8	1.7	1.8	1.9	1.9
その他	92	1.5	0.7	0.7	0.8	1.0	1.0	1.0	0.8	0.8	0.8	0.5	0.5	0.6	0.6	0.9	0.9
有効回答全体	533	1.8	0.9	0.9	1.0	1.2	1.2	1.2	1.1	1.1	1.2	1.0	1.0	1.0	1.0	1.2	1.2

※「担当している主な役割」は複数回答のため、全てを縦に合計しても有効回答全体人数とは一致しない

グラフデータ（ITスキル診断）

2-4. 役割／ロールごとのスキルレベル平均（所属企業の規模別）

所属企業の規模	人数	役割／ロール スキルレベル値															
		ビジネス パーソン	ビジネス アーキテ クト（新 規事業開 発）	ビジネス アーキテ クト（既 存事業の 高度化）	ビジネス アーキテ クト（社 内業務の 高度化・ 効率化）	デザイ ナー （サービ スデザイ ナー）	デザイ ナー（UX ／UIデザ イナー）	デザイ ナー（グ ラフィッ クデザイ ナー）	データサ イエ ンティ スト （データ ビジネス ストラテ ジスト）	データサ イエ ンティ スト （データ サイエン スプロ フェッ シヨナ ル）	データサ イエ ンティ スト （データ エンジニア ）	ソフト ウェアエ ンジニア （フロン トエンド エンジニア ）	ソフト ウェアエ ンジニア （バック エンドエ ンジニア ）	ソフト ウェアエ ンジニア （クラウド エンジニア ／ SRE）	ソフト ウェアエ ンジニア （フィジ カルコン ピュー ティング エンジニア ）	サイバー セキュリ ティ（サイ バーセ キュリ ティマ ネー ジャー）	サイバー セキュリ ティ（サイ バーセ キュリ ティエン ジニア）
100人未満	270	1.6	0.8	0.8	0.8	1.1	1.1	1.1	1.0	1.0	1.1	1.0	1.0	1.0	1.0	1.1	1.1
100～300人未満	141	1.5	0.8	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.8	0.8	0.8	0.9	1.1	1.1
300～1,000人未満	35	2.6	1.5	1.5	1.8	1.7	1.6	1.7	1.7	1.6	1.8	1.5	1.5	1.4	1.4	1.8	1.8
1,000～5,000人未満	57	2.2	1.0	1.0	1.1	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.3	0.8	0.8	0.8	0.8	1.2	1.2
5,000人以上	30	2.7	1.7	1.7	2.0	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.7	1.1	1.1	1.2	1.2	1.7	1.7
全体	533	1.8	0.9	0.9	1.0	1.2	1.2	1.2	1.1	1.1	1.2	1.0	1.0	1.0	1.0	1.2	1.2

グラフデータ（アンケート結果）

【あなたの業務状況】

3-1. あなたのIT実務経験年数はどれくらいですか？【単一選択】

回答選択肢	人数	比率(%)
～2年（ジュニア）	93	17.4
3～5年	80	15.0
6～10年（ミドル）	84	15.8
11～15年	49	9.2
16～20年（シニア）	44	8.3
20年以上	183	34.3
計	533	100.0

3-2. あなたのキャリア類型として最も近いものはどれですか？【単一選択】

回答選択肢	人数	比率(%)
一つの専門を深掘りするスペシャリスト型	111	20.8
複数領域を横断するジェネラリスト型	191	35.8
マネジメント・推進が中心	100	18.8
まだ模索中	131	24.6
計	533	100.0

グラフデータ（アンケート結果）

3-3. 普段、業務の比重が大きい工程はどこですか？【複数選択】

回答選択肢	人数	比率(%)
要件定義・企画	125	23.5
設計	161	30.2
実装・コーディング	169	31.7
テスト・品質保証	146	27.4
運用・保守	196	36.8
プロジェクト管理・調整	139	26.1
関係者調整・コンサルティング	99	18.6
経営・マネジメント	73	13.7
その他	89	16.7
計	533	

※複数回答のため、回答合計数は全体人数と一致しない

【AI活用レベル／個人のAI活用レベル】

3-4. あなたの業務においてAIの活用度合いは次のうちどれが最も当てはまりますか？【単一選択】

回答選択肢	人数	比率(%)
業務で生成AIを使っていない	39	7.3
補助的に利用している（情報検索・要約などインプットの補助、単発の質問）	243	45.6
思考プロセスをAIが補助している（企画・意思決定の壁打ち、成果物のレビューなど）	118	22.1
成果物生成作業を代替している（コード生成・資料作成などで生成AIが出力した結果を微修正しながら使っている）	104	19.5
業務の一部をエージェント等を用いて自動化している	19	3.6
AI前提で業務プロセスそのものを再設計している	10	1.9
計	533	100.0

グラフデータ（アンケート結果）

【AI活用レベル／業務プロセスごとのAI活用状況】

3-5.それぞれの業務プロセスにおけるあなたの生成AI活用効果について、当てはまるものを選んでください。【単一選択】

① 情報収集・検索・要約

回答選択肢	人数	比率(%)
ほとんど自動化された	9	1.7
大幅に時間短縮した	200	37.5
ある程度時短になった	243	45.6
そのタスクにかかる時間は変わっていない	31	5.8
そのタスクにAIを使っていない	28	5.3
そのタスクは自身の業務に該当しない	22	4.1
計	533	100.0

② 文書・資料・メールの作成

回答選択肢	人数	比率(%)
ほとんど自動化された	12	2.3
大幅に時間短縮した	145	27.2
ある程度時短になった	239	44.8
そのタスクにかかる時間は変わっていない	40	7.5
そのタスクにAIを使っていない	79	14.8
そのタスクは自身の業務に該当しない	18	3.4
計	533	100.0

グラフデータ（アンケート結果）

③ 設計（システム設計・構成設計・UI設計等）

回答選択肢	人数	比率(%)
ほとんど自動化された	6	1.1
大幅に時間短縮した	50	9.4
ある程度時短になった	107	20.1
そのタスクにかかる時間は変わっていない	33	6.2
そのタスクにAIを使っていない	109	20.5
そのタスクは自身の業務に該当しない	228	42.8
計	533	100.0

④ コーディング・プログラミング

回答選択肢	人数	比率(%)
ほとんど自動化された	19	3.6
大幅に時間短縮した	119	22.3
ある程度時短になった	87	16.3
そのタスクにかかる時間は変わっていない	19	3.6
そのタスクにAIを使っていない	60	11.3
そのタスクは自身の業務に該当しない	229	43.0
計	533	100.0

グラフデータ（アンケート結果）

⑤ レビュー・品質チェック・トラブルシューティング

回答選択肢	人数	比率(%)
ほとんど自動化された	4	0.8
大幅に時間短縮した	78	14.6
ある程度時短になった	140	26.3
そのタスクにかかる時間は変わっていない	33	6.2
そのタスクにAIを使っていない	100	18.8
そのタスクは自身の業務に該当しない	178	33.4
計	533	100.0

⑥ 定型入力・記録業務

回答選択肢	人数	比率(%)
ほとんど自動化された	12	2.3
大幅に時間短縮した	60	11.3
ある程度時短になった	109	20.5
そのタスクにかかる時間は変わっていない	37	6.9
そのタスクにAIを使っていない	183	34.3
そのタスクは自身の業務に該当しない	132	24.8
計	533	100.0

グラフデータ（アンケート結果）

⑦ データ分析・集計・可視化

回答選択肢	人数	比率(%)
ほとんど自動化された	9	1.7
大幅に時間短縮した	94	17.6
ある程度時短になった	131	24.6
そのタスクにかかる時間は変わっていない	29	5.4
そのタスクにAIを使っていない	118	22.1
そのタスクは自身の業務に該当しない	152	28.5
計	533	100.0

⑧ 企画・アイデア出し・業務設計（思考のアウトプット）

回答選択肢	人数	比率(%)
ほとんど自動化された	3	0.6
大幅に時間短縮した	117	22.0
ある程度時短になった	177	33.2
そのタスクにかかる時間は変わっていない	37	6.9
そのタスクにAIを使っていない	92	17.3
そのタスクは自身の業務に該当しない	107	20.1
計	533	100.0

グラフデータ（アンケート結果）

⑨ 社内外のコミュニケーション（議事録・問い合わせ対応）

回答選択肢	人数	比率(%)
ほとんど自動化された	15	2.8
大幅に時間短縮した	97	18.2
ある程度時短になった	159	29.8
そのタスクにかかる時間は変わっていない	44	8.3
そのタスクにAIを使っていない	137	25.7
そのタスクは自身の業務に該当しない	81	15.2
計	533	100.0

【AI活用レベル／組織のAI活用レベル】

3-6. チームの中で生成AI活用について、あなたは今どんな立ち位置にいますか？ 【単一選択】

回答選択肢	人数	比率(%)
チーム内で一番先を走っている自覚がある	33	6.2
やや先行していて、周りに教える側になることが多い	89	16.7
周りと同じくらいで、特に意識したことはない	214	40.2
やや遅れている気がして、追いつきたいと思っている	80	15.0
かなり遅れていて、正直焦っている	23	4.3
比較したことがない、周囲の状況がわからない	94	17.6
計	533	100.0

グラフデータ（アンケート結果）

【AI活用レベル／AI活用レベルの差異による影響】

3-7. チーム内で生成AIの活用度に差がある場合、あなたが実際に経験・実感している影響をすべて選んでください。【複数選択】

回答選択肢	人数	比率(%)
AI活用が進んでいるメンバーが周囲に使い方を教え、チーム全体のスキルが底上げされている	104	19.5
AI活用が進んでいるメンバーとそうでないメンバーの間で、仕事の進め方やスピード感にズレが生じている	181	34.0
AI活用が進んでいるメンバーの仕事のやり方が他のメンバーに理解されず、孤立気味になっている	29	5.4
AI活用が進んでいる人ほど忙しくなっている	43	8.1
AI活用が進んでいないメンバーが焦りや不安を感じている	37	6.9
AI活用の差がチーム内の評価や処遇の公平性に疑問を生んでいる	9	1.7
特に目立った影響は感じていない	253	47.5
計	533	

※複数回答のため、回答合計数は全体人数と一致しない

グラフデータ（アンケート結果）

【AI活用による変化／生成AIの効果】

3-8. 実際に生成AIの登場によって業務でどのような変化が起きていますか？【複数選択】

回答選択肢	人数	比率(%)
業務を捌ける量が増えている	186	34.9
既存業務の品質が高くなっている	158	29.6
企画などより創造的な業務に取り組んでいる	73	13.7
顧客接点や部下のマネジメントなど対人業務が増えている	19	3.6
新しい業務/プロジェクトに配属された・予定している	28	5.3
さらなる効率化・自動化を模索している	256	48.0
新たなスキル・知識の習得に充てている	208	39.0
副業・社外活動など新たな活動に取り組んでいる	16	3.0
残業が減り、労働時間が短縮した	22	4.1
むしろデータ・リスク管理などで業務が増えた	46	8.6
特に従来業務から変わらない	81	15.2
分からない	54	10.1
計	533	

※複数回答のため、回答合計数は全体人数と一致しない

グラフデータ（アンケート結果）

【AI活用による変化／生成AIへの期待】

3-9. 生成AIの登場により、今後のキャリアについての考えはどのように変化していますか？【単一選択】

回答選択肢	人数	比率(%)
所属する組織内で業務の高度化や新しいプロジェクトに挑戦したい	104	19.5
AI活用を推進する役割に挑戦したい	75	14.1
新しい環境（副業・転職・独立）を視野に入れている	40	7.5
キャリアの方向性を根本的に見直している	39	7.3
まだ方向性が定まっていない	150	28.1
特に変化はない	120	22.5
その他	5	0.9
計	533	100.0

【AI活用による変化／感情の変化】

3-10. AIの進化についてどのように感じていますか？もっとも当てはまるものを選択してください。【単一選択】

回答選択肢	人数	比率(%)
興味を持って日々楽しく情報収集している	193	36.2
ついて行きたい気持ちはあるが、焦りを感じている	121	22.7
変化についていくことができず諦めている	10	1.9
あえてAIとは距離を置いている	7	1.3
特に焦りはなく、自分が必要なことを学んでいる	173	32.5
自分にはあまり関係がないと感じている	13	2.4
その他	16	3.0
計	533	100.0

グラフデータ（アンケート結果）

【AI活用による変化／働き方の変化】

3-11. AI活用によって、チームでの働き方やコミュニケーションのあり方について感じていることとして、当てはまるものをすべて選んでください。【複数選択】

回答選択肢	人数	比率(%)
人と話すより、AIと話している時間の方が長くなった	99	18.6
「相談相手はAIで十分」と思うことが増えた	85	15.9
一人で完結できる仕事が増え、気が楽になった	145	27.2
一人で完結できてしまうことに、寂しさを感じることもある	30	5.6
チームでやる意味を改めて考えるようになった	104	19.5
AIを活用することが当たり前になり、チームメンバーに頼りづらくなった	25	4.7
特に変わった感覚はない	248	46.5
計	533	

※複数回答のため、回答合計数は全体人数と一致しない

【変革の促進要因・阻害要因／業務の性質】

3-12. あなたの職場の組織風土はどれに近いですか？【単一選択】

回答選択肢	人数	比率(%)
伝統・安定重視型：手続き・承認が重視される、業務変更は慎重	150	28.1
改善志向型：効率化や改善には前向きだが、抜本変革は慎重	193	36.2
自律分散型：現場裁量が大きく、個人・チームの判断で進める	107	20.1
変革志向型：新しいやり方を積極導入・試行錯誤が奨励される	47	8.8
分からない	36	6.8
計	533	100.0

グラフデータ（アンケート結果）

【変革の促進要因・阻害要因／変革の阻害要因】

3-13.業務を変える上で障壁に感じる要素はどれですか？【複数選択】

回答選択肢	人数	比率(%)
特に自動化したい業務プロセスがない	47	8.8
自動化したい業務プロセスはあるが、AIで実現できるかわからない	161	30.2
周囲がやっていないので、自分だけ取り組みづらい	29	5.4
AI活用が組織全体に浸透しておらず、定着しない	118	22.1
自由に試行錯誤できる環境がない	109	20.5
業務プロセスを変える権限がない	112	21.0
チーム内や上司との合意が難しい	73	13.7
品質や情報漏洩などが怖く、踏み切れない	122	22.9
特に障壁を感じていない	111	20.8
その他	29	5.4
計	533	

※複数回答のため、回答合計数は全体人数と一致しない

【変革の促進要因・阻害要因／業務変革の経験】

3-14.これまで自身や組織の業務プロセスを見直し、改善した経験がありますか？【単一選択】

回答選択肢	人数	比率(%)
自ら業務を改善した経験がある	228	42.8
業務変革のプロジェクトに参加したことがある	56	10.5
業務変革をテーマにした研修・eラーニングなどの教育を受講したことがある	61	11.4
上記のいずれもない	188	35.3
計	533	100.0

グラフデータ（アンケート結果）

【変革の促進要因・阻害要因／組織からの支援】

3-15. AIを活用した業務変革に向けた組織の支援として、あなた自身が実際に利用できる・適用されているものをすべて選んでください。【複数選択】

回答選択肢	人数	比率(%)
無償版のAIツールが提供されている	186	34.9
有償版のAIツールが提供されている	278	52.2
市民開発ツールが提供されている	28	5.3
ガイドラインが共有されている	167	31.3
研修・Eラーニング等の教育が提供されている	112	21.0
評価制度へ反映されている	11	2.1
特に組織からの支援はない	111	20.8
計	533	

※複数回答のため、回答合計数は全体人数と一致しない

【変革の促進要因・阻害要因／AIの学習意欲】

3-16.この1年で、生成AI関連の学習に使った時間を教えてください。【単一選択】

回答選択肢	人数	比率(%)
0時間	89	16.7
～10時間	178	33.4
～30時間	128	24.0
～100時間	82	15.4
100時間～	56	10.5
計	533	100.0

グラフデータ（アンケート結果）

【今後必要な人材像／不要になりつつある業務】

3-17.自分の業務のうち、1～2年以内に「作業そのもの」をAIに任せる必要があると思うものはどれですか？【複数選択】

回答選択肢	人数	比率(%)
要件定義/企画	49	9.2
設計	77	14.4
コーディング	251	47.1
テスト	186	34.9
ドキュメント作成	283	53.1
プロジェクト管理	66	12.4
保守・運用	81	15.2
関係者調整・コミュニケーション	33	6.2
ナレッジ共有・標準化	198	37.1
その他	44	8.3
計	533	

※複数回答のため、回答合計数は全体人数と一致しない

グラフデータ（アンケート結果）

【今後必要な人材像／重要性が増している能力】

3-18. AI活用が進む中で、今後自身が関与を強めたいと思う業務はどれですか？ 【複数選択】

回答選択肢	人数	比率(%)
要件の見極め・優先順位の判断	225	42.2
設計方針・アーキテクチャの判断	167	31.3
コード品質・セキュリティの最終判断	166	31.1
テスト観点の設計・品質基準の判断	138	25.9
プロジェクトのリスク判断・意思決定	167	31.3
関係者との合意形成・利害調整	170	31.9
業務改善の方向性の判断	226	42.4
ナレッジの価値判断・標準化方針 など	166	31.1
その他	18	3.4
計	533	

※複数回答のため、回答合計数は全体人数と一致しない

グラフデータ（アンケート結果）

【今後必要な人材像／AIをどのようにコントロールしているか】

3-19. AIを上手く使うためにいつも実践していることを選んでください。【複数選択】

回答選択肢	人数	比率(%)
目的・前提条件や制約、背景情報を具体的に伝える	332	62.3
指示を構造化して明確に伝えている	210	39.4
出力形式（箇条書き・表・構造等）を指定してAIに依頼している	226	42.4
インプットする情報を工夫して渡している	224	42.0
AIとの壁打ちを通じて、何度もやり取りしながら出力を改善している	274	51.4
中間アウトプットを確認しながら段階的に進めている	136	25.5
AIの出力を自分自身でも検証・確認する	260	48.8
複数のAIツールを用途に応じて使い分けている	147	27.6
自分なりのプロンプトパターンやテンプレートを持っている	90	16.9
上記のいずれも当てはまらない	30	5.6
計	533	

※複数回答のため、回答合計数は全体人数と一致しない

グラフデータ（アンケート結果）

【今後必要な人材像／組織からの支援】

3-20. AI時代を生き抜くために、会社・組織に特に強く期待していることは何ですか？ 【複数選択】

回答選択肢	人数	比率(%)
安心して試せる環境（サンドボックス・予算）の提供	314	58.9
体系的な学習・研修プログラム	222	41.7
AI活用を前提にした評価制度の見直し	87	16.3
キャリア相談・1on1の機会	45	8.4
業務プロセスを変える権限の付与	80	15.0
AI活用を主導するリーダーの育成	148	27.8
心理的安全性の高い文化づくり	157	29.5
AI時代に即した新規事業の創出	115	21.6
上記の中で期待するものはない	55	10.3
計	533	

※複数回答のため、回答合計数は全体人数と一致しない